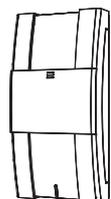


## 簡易施工マニュアル

### KP-MU1P-SET-HQ

モニタリングユニット  
住宅向け PV 用セット



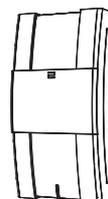
計測ユニット



カラー表示ユニット

### KP-MU1P-M-SET-HQ

モニタリングユニット  
住宅向け PV 用計測ユニットセット



計測ユニット

本書は、KP-MU1P-SET-HQ および KP-MU1P-M-SET-HQ の施工方法について、工事店様向けに説明しています。はじめに本書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、正しく安全にご使用ください。

- 計測ユニットおよびカラー表示ユニットの施工に際して記載内容を守ってください。
- 計測ユニットおよびカラー表示ユニットの施工は電気の知識を有する専門家が行ってください。

- 施工時には、製品同梱の施工チェックリストをご確認の上、必要事項を必ず記入してください。初期設定時に必要になります。
- 本書は標準システム (⇒ 3) の施工方法について説明しています。

施工・保守、取扱説明の詳細については、下記をお読みください。

「KP-MU1P-SET-HQ/KP-MU1P-M-SET-HQ 施工・保守マニュアル」(6601239-0)

「KP-MU1P-SET-HQ/KP-MU1P-M-SET-HQ 取扱説明書」(6601280-2)

「モニタリングユニット 施工・保守 補足説明書 (出力制御編)」(6601187-3)

## 施工・設定の流れ

1 部材・機器の準備 (⇒ 8)

2 計測ユニットの設置 (⇒ 10)

3 計測ユニットに通信ケーブルをつなぐ (⇒ 11)

4 パワーコンディショナの配線・設定 (⇒ 12)

5 LAN ケーブルの配線 (⇒ 17)

6 **余剰買取**  
主幹用電流センサの設置 (⇒ 18)

7 電圧検知用ケーブルの配線 (⇒ 20)

8 設置／配線完了後の作業 (⇒ 21)

9 初期設定前の準備 (⇒ 23)

10 **カラー表示ユニットあり**  
初期設定する (⇒ 24)

11 **カラー表示ユニットなし**  
初期設定する (⇒ 32)

12 運転停止 / 再開の切り替え操作確認 (⇒ 36)

13 **カラー表示ユニットあり**  
カラー表示ユニットの設置 (⇒ 38)



# 安全上のご注意 / 安全上の要点 / 使用上の注意

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、安全な設置作業および安全にご使用いただくための重大な内容を記載しています。必ずお守りください。

正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至るおそれがあります。

詳細は「KP-MU1P-SET-HQ/KP-MU1P-M-SET-HQ 施工・保守マニュアル」(6601239-0)をお読みください。

## 警告

|   |  |
|---|--|
|    | <ul style="list-style-type: none"><li>● 計測ユニットおよびカラー表示ユニットに発火物を近づけたり、可燃性ガスを含むスプレーを吹き付けないでください。</li><li>● 計測ユニットおよびカラー表示ユニットにぬれた手で触れないでください。</li><li>● AC アダプタは、壁の中に埋め込むなどの隠ぺい配線をしないでください。</li></ul>  |
|    | <ul style="list-style-type: none"><li>● 計測ユニットおよびカラー表示ユニットを分解・改造しないでください。</li></ul>  |
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 計測ユニットの電圧検知用ケーブルは、φ2.0 銅単線 (VVF) を準備してください。</li><li>● 計測ユニットの設置時には計測ユニット用の個別ブレーカ (計測ユニット用ブレーカ) を使用してください。</li><li>● 計測ユニットは、幼児の手の届かないところに設置してください。</li><li>● 計測ユニットを配線する際は、計測ユニットの電源 (計測ユニット用ブレーカ) を必ずオフにしてください。</li><li>● 取り付けに際して、「電気設備技術基準」「内線規程」に従って正しく施工を行ってください。</li><li>● 設置は、第一種または第二種電気工事士が行ってください。</li></ul> |

## 注意

|   |  |
|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 計測ユニットおよびカラー表示ユニットを振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれのあるところに設置しないでください。</li><li>● 計測ユニットおよびカラー表示ユニットを次のような場所には設置しないでください。<ul style="list-style-type: none"><li>– 屋外や軒下等の雨水があたる場所</li><li>– 洗面所、脱衣所、作業場、調理場などで湯気の当たる場所、もしくは湿度が 25 ~ 85%RH 以外のところ</li></ul></li><li>● カラー表示ユニットを乳幼児の手の届く場所やペットが近づける場所、不安定な場所には置かないでください。</li></ul> |
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 薄い木材や木材ではない材質の壁に計測ユニットを設置する場合は、市販のボードアンカーを使って、壁面にしっかりと固定してください。</li><li>● 薄い木材や木材ではない材質の壁にカラー表示ユニットを設置する場合は、市販のボードアンカーを使って、壁掛けプレートを壁面にしっかりと固定してください。</li><li>● 端子ねじは、<math>1.4 \pm 0.2\text{N} \cdot \text{m}</math> で確実に締め付けてください。</li></ul>  |

## 安全上の要点

- 計測ユニットは、状態表示ランプを下方向にして垂直な壁にねじで確実に固定してください。
- カラー表示ユニットを壁に設置する際には、タッチボタンが下になるように設置してください。また、壁に設置しない場合は、スタンドにセットしてご使用ください。
- 計測ユニットの端子台への配線は、同梱の圧着端子を使用してください。

## 使用上の注意

- カラー表示ユニットの電源コネクタには、専用 AC アダプタ以外を接続しないでください。

# 本書について

## ■ 本書で取り扱うシステム構成について

本製品は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の余剰買取方式と全量買取方式の両方に対応しています。事前にどちらの方式を施工するか確認してください。

本製品の代表的なシステム構成は下記の **A** ~ **D** です。

本書では、システム構成 **A** (標準システム) およびシステム構成 **B** (標準システム) の施工方法について説明しています。

システム構成 **C** およびシステム構成 **D** の施工方法については、「施工・保守マニュアル」(6601239-0) をお読みください。

| システム構成                      | 買取方式   | パワーコンディショナの台数 | 主幹計測※1 | 外部発電計測※2 | 分岐計測※3 | 参照するマニュアル                  | 本書での区別      |
|-----------------------------|--------|---------------|--------|----------|--------|----------------------------|-------------|
| システム構成 <b>A</b><br>(標準システム) | 余剰買取方式 | 3台            | あり     | なし       | なし     | 本書                         | <b>余剰買取</b> |
| システム構成 <b>B</b><br>(標準システム) | 全量買取方式 | 3台            | なし     | なし       | なし     |                            | <b>全量買取</b> |
| システム構成 <b>C</b>             | 余剰買取方式 | 2台            | あり     | あり       | あり     | 施工・保守マニュアル<br>(WEBサイトから入手) | —           |
| システム構成 <b>D</b>             | 全量買取方式 | 3台            | あり     | あり       | あり     |                            | —           |

※ 1. 主幹ブレーカに流れる電流と向きを計測します。

※ 2. 外部発電機 (エコウィル、エネファームなど) の発電量を計測します。

※ 3. 各分岐ブレーカの消費電力を計測します。

**余剰買取** の記載がある項目：余剰買取方式のみに該当する説明です。

**全量買取** の記載がある項目：全量買取方式のみに該当する説明です。

**余剰買取**、**全量買取** の記載がない項目：余剰買取方式と全量買取方式の両方に該当する説明です。

## ■ 本書に説明の無い施工方法について

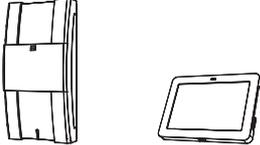
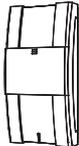
「施工・保守マニュアル」(6601239-0) をお読みください。

- 計測ユニットの露出配線
- カラー表示ユニットの卓上設置
- 他機種 (KP-CM2-HQ、KP-CM2F) から本製品に機器交換

## 本書について（つづき）

### ■ 本書で取り扱う製品について

本書では下記の2つのセット形式について説明しています。

| セット形式   | カラー表示ユニットの同梱 | 初期設定を行う機器 | 本書での区別      |
|---|--------------|-----------|-------------|
| KP-MU1P-SET-HQ<br>   | あり           | カラー表示ユニット | カラー表示ユニットあり |
| KP-MU1P-M-SET-HQ<br> | なし           | 計測ユニット    | カラー表示ユニットなし |

**カラー表示ユニットあり** の記載がある項目：KP-MU1P-SET-HQ のみに該当する説明です。

**カラー表示ユニットなし** の記載がある項目：KP-MU1P-M-SET-HQ のみに該当する説明です。

**カラー表示ユニットあり**、**カラー表示ユニットなし** の記載がない項目：KP-MU1P-SET-HQ と KP-MU1P-M-SET-HQ の両方に該当する説明です。

### ■ 本書では以下のように記載しています

- 「ソーラーパワーコンディショナ」 → 「パワーコンディショナ」
- 「太陽光発電用漏電ブレーカ」 → 「太陽光発電用ブレーカ」
- パワーコンディショナ「KP30K3-HQ」、「KP40K3-HQ」、「KP55K3-HQ」 → 「KP □ K3-HQ」
- パワーコンディショナ「KP44M2-J4-HQ」、「KP55M2-J4-HQ」 → 「KP □ M2-J4-HQ」
- パワーコンディショナ「KP44M2-SJ4」、「KP55M2-SJ4」 → 「KP □ M2-SJ4」
- パワーコンディショナ「KP48R-J3-HQ-A」、「KP59R-J4-HQ-A」 → 「KP □ R-HQ」
- 「PCS 間通信ケーブル（屋内外共用）」、「PCS 間通信ケーブル（屋内専用）」、「PCS 間通信ケーブル（屋外専用）」 → 「PCS 間通信ケーブル」
- 参照いただくページ → 「⇒ 00」
- 「主幹 / 外部発電機用電流センサ（φ14.5）」を「主幹用電流センサ（φ14.5）」や「外部発電機用電流センサ（φ14.5）」と表現することがあります。

※ 上記形式は2017年7月現在のものです。

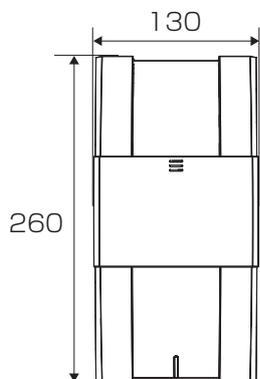
● 本書では隠ぺい配線の説明のみを記載しています。

露出配線については、「施工・保守マニュアル」（6601239-0）をお読みください。

# 外形寸法図

## ■計測ユニット

正面図

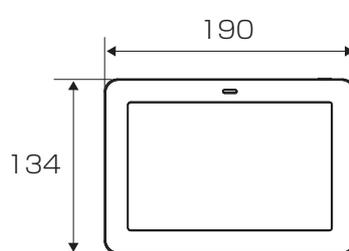


側面図



## ■カラー表示ユニット カラー表示ユニットあり

正面図



側面図



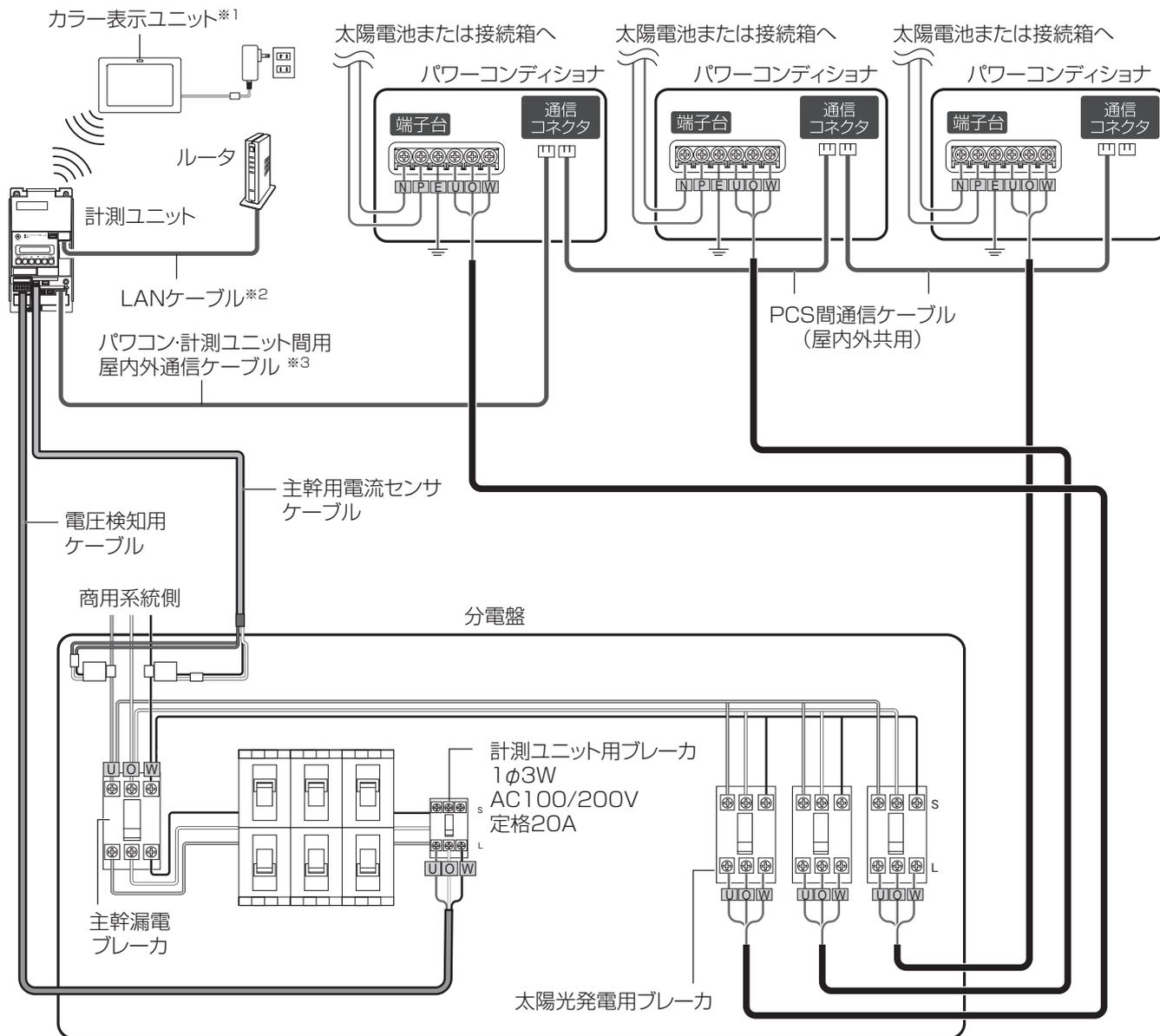
(単位：mm)

# システムの配線図

## システム構成 A 余剰買取

パワーコンディショナを3台接続するシステムの配線図を示します。(機器のイラストはイメージ図です)

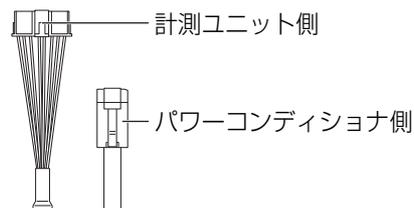
- パワーコンディショナと太陽電池間の配線はパワーコンディショナの形式によって異なります。  
パワーコンディショナの施工マニュアルも併せてお読みください。



※ 1. **カラー表示ユニットなし** カラー表示ユニットは同梱されていません。

※ 2. 計測ユニット・ルータ間を有線接続する場合のみ必要です。

※ 3. パワーコンディショナ側と計測ユニット側で端子の形状が異なります。ケーブルの向きに注意して配線してください。

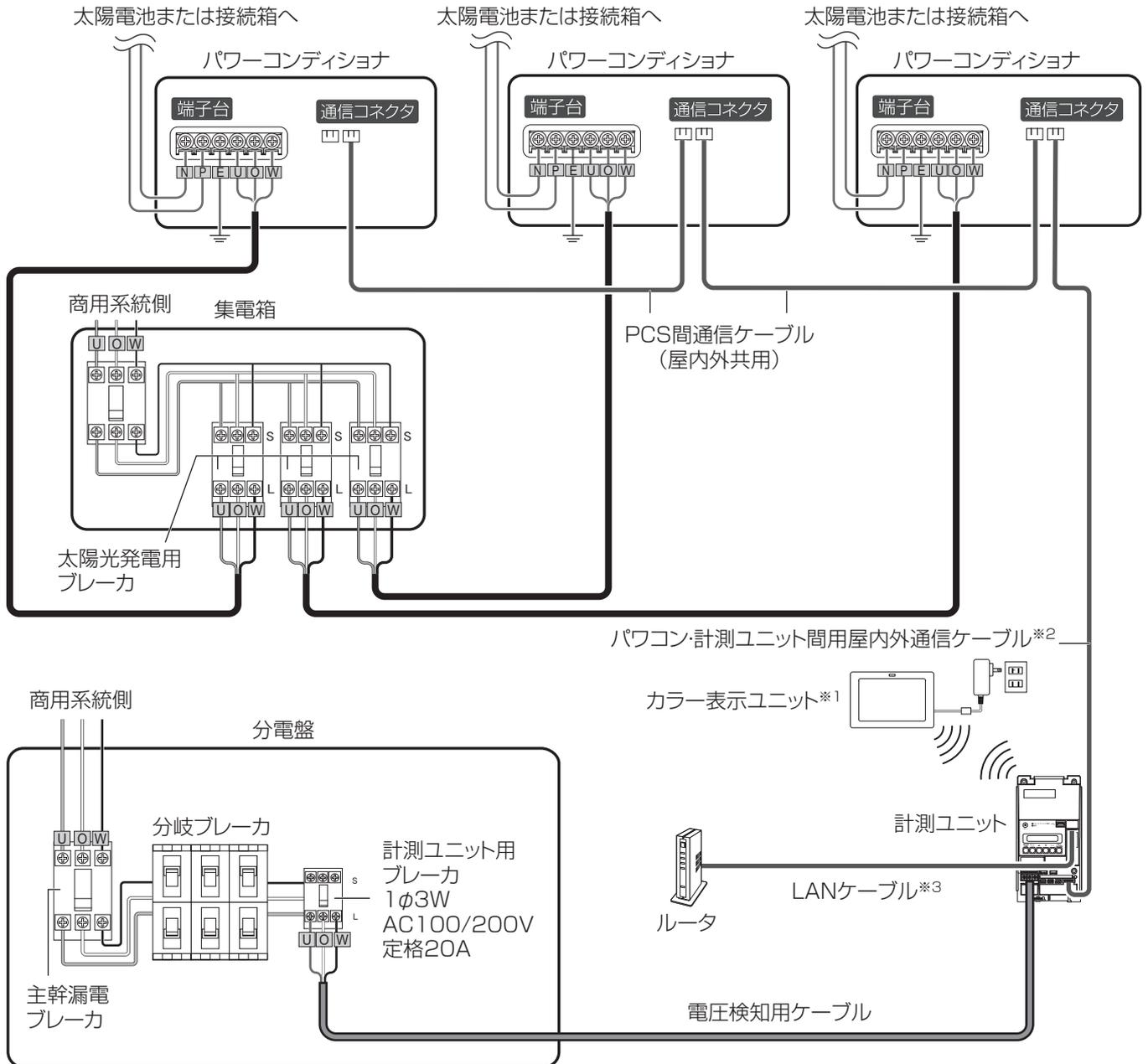


# システムの配線図 (つづき)

## システム構成 ② 全量買取

パワーコンディショナを3台接続するシステムの配線図を示します。(機器のイラストはイメージ図です)

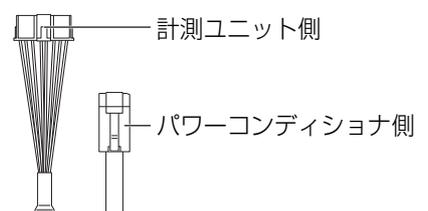
- パワーコンディショナと太陽電池間の配線はパワーコンディショナの形式によって異なります。  
パワーコンディショナの施工マニュアルも併せてお読みください。



※ 1. **カラー表示ユニットなし** カラー表示ユニットは同梱されていません。

※ 2. パワーコンディショナ側と計測ユニット側で端子の形状が異なります。ケーブルの向きに注意して配線してください。

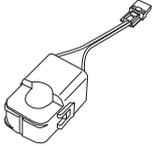
※ 3. 計測ユニット・ルータ間を有線接続する場合のみ必要です。



# 1 部材・機器の準備

## 同梱品を確認する

本書で説明する設置・配線作業では、以下の同梱品を使用します。そろっているか事前にご確認ください。使用しなかった同梱品は、施工チェックリストと併せてお客様に渡るように手配してください。

| 計測ユニットおよび関連部品   |   |   |
|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 計測ユニット [1 台]<br>(KP-MU1P-M-HQ)<br>                              | <input type="checkbox"/> 壁取り付け用木ねじ (+) [3 本]<br>(4.1 × 25) ※ 1<br>                       | <input type="checkbox"/> 圧着端子 [3 個]<br>(R5.5-4) ※ 1<br>                                  |
| <input type="checkbox"/> 主幹 / 外部発電機用電流センサ<br>(φ 14.5) [2 個]<br>(KP-CT-S16AC100) ※ 2<br> | <input type="checkbox"/> 主幹用電流センサケーブル<br>(計測ユニット用) 3m [1 本]<br>(KP-CHI-C4VG03N) ※ 3<br> | <input type="checkbox"/> パワコン・計測ユニット間用屋内外<br>通信ケーブル 5m [1 本]<br>(KP-CH-B8VG05S) ※ 3<br> |
| <input type="checkbox"/> 絶縁キャップ (白) [3 個] ※ 1<br>                                      | <input type="checkbox"/> 結束バンド [2 本] ※ 4<br>   |   |

※ 1. 壁取り付け用木ねじ、圧着端子、絶縁キャップはすべて 1 袋に同梱されています。

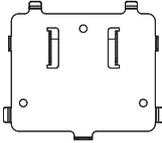
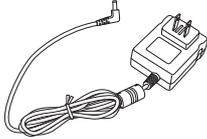
※ 2. 適用ケーブルが φ 14.5mm を超える場合は、別売りの電流センサが必要です。

※ 3. 長さが足りない場合は別売品を準備してください。(⇒ 施工・保守マニュアル「部材・機器の準備」)

※ 4. 露出配線時に使用します。露出配線については、「施工・保守マニュアル」(6601239-0) をお読みください。

パワーコンディショナを複数台設置する場合は別売りの PCS 間通信ケーブルが必要です。  
(⇒ 施工・保守マニュアル「部材・機器の準備」)

# 1 部材・機器の準備 (つづき)

| カラー表示ユニットおよび関連部品 <span style="float: right;">カラー表示ユニットあり</span>   |  |  |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> カラー表示ユニット [1 台]<br>(KP-MU1P-D-HQ)<br>   | <input type="checkbox"/> 壁掛けプレート [1 個]<br>(KP-MU1P-ST2)<br>       | <input type="checkbox"/> スタンド [1 個]<br>(KP-MU1P-ST1)<br>      |
| <input type="checkbox"/> AC アダプタ [1 個] (1.8m)<br>(KP-MU1P-AC)<br>  | <input type="checkbox"/> 壁取り付け用木ねじ (+) [3 本]<br>(4.1 × 25) ※5<br> | <input type="checkbox"/> 取り付けねじ [1 本]<br>(M3 × 5 (ナベ)) ※5<br> |
| ※ 5. 壁取り付け用木ねじ、取り付けねじは 1 袋に同梱されています。この袋は、壁掛けプレートの袋に同梱されています。  |  |  |
| <input type="checkbox"/> 簡易施工マニュアル (本書) [1 部] <input type="checkbox"/> チラシ「ソフトウェア自動更新設定に伴うご承諾事項について」 [1 部]<br><input type="checkbox"/> 取扱説明書 [1 部] <input type="checkbox"/> 施工チェックリスト [1 部] |  |  |

## 工事店様で準備する部材・機器

### 電圧検知用ケーブル作成用部材

- VVF φ2mm × 3 芯 (銅単線)
- 圧着端子 [1 式] (分電盤の計測ユニット用ブレーカへの配線用)  
選定された計測ユニット用ブレーカに応じた圧着端子をご準備ください。
- 絶縁キャップ [1 式] (分電盤の計測ユニット用ブレーカへの配線用)

### 工具・測定器具

- トルクドライバ (締め付けトルク : 0.4 ~ 1.6N・m)
- 裸圧着端子用圧着工具 (JIS 適合品)

### その他

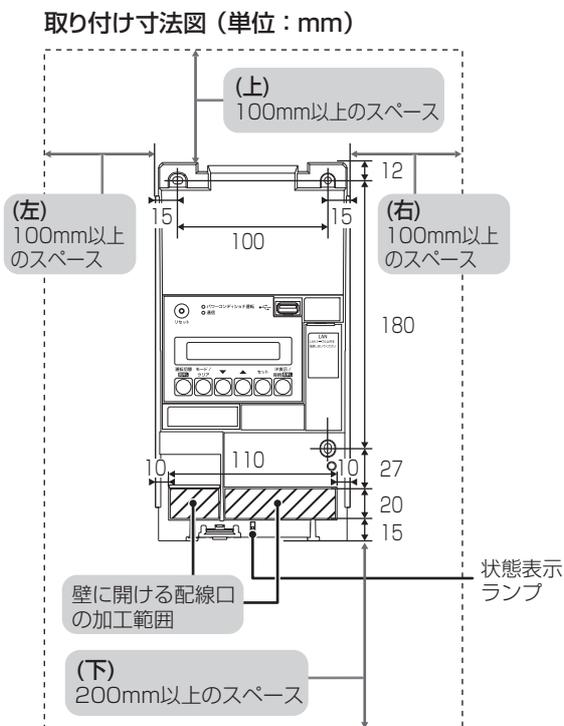
- 穴埋め用パテ (計測ユニットの配線口用)
- ボードアンカーなどの壁面補強材 (計測ユニットを薄い木材や木材ではない材質の壁に取り付ける場合に必要になります)
- 計測ユニット用ブレーカ  
1φ3W AC100/200V、定格 20A
- LAN ケーブル (ストレート / クロス、カテゴリー 5 以上)  
(計測ユニットとルータ間を有線接続する場合に使用します)
- 電流センサ設置方向確認用の電化製品 (150W 以上 × 2 (U 相、W 相用))

上記以外に必要な部材・機器がある場合は、工事店様でご準備ください。

## 2 計測ユニットの設置

### 1. 計測ユニットの設置場所を確認する

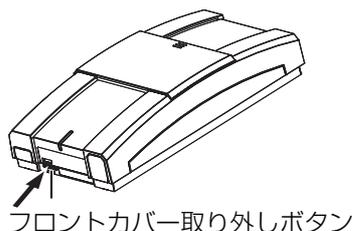
図のスペースが確保できる場所か確認する



- 計測ユニットの上面、左面、右面から 100mm 以内、下面から 200mm 以内には障害物等を置かないように取り付けてください。周囲に障害物等があると、無線到達距離が短くなります。
- 状態表示ランプを下方向にして、垂直な壁に取り付けてください。
- 横にしたり、傾けたりして取り付けないでください。
- 薄い木材や木材ではない材質の壁に計測ユニットを設置する場合は、市販のボードアンカーを使って、壁面にしっかりと固定してください。

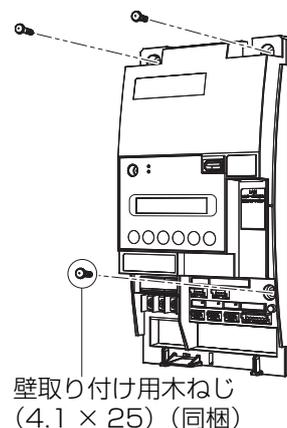
### 2. 計測ユニットを設置する

- 1 計測ユニットのフロントカバー取り外しボタンをマイナスドライバなどの先の細い工具で押しながら、フロントカバーを取り外す



- 2 図のように計測ユニットを壁取り付け用木ねじ (4.1 × 25) (3本) で壁に固定する

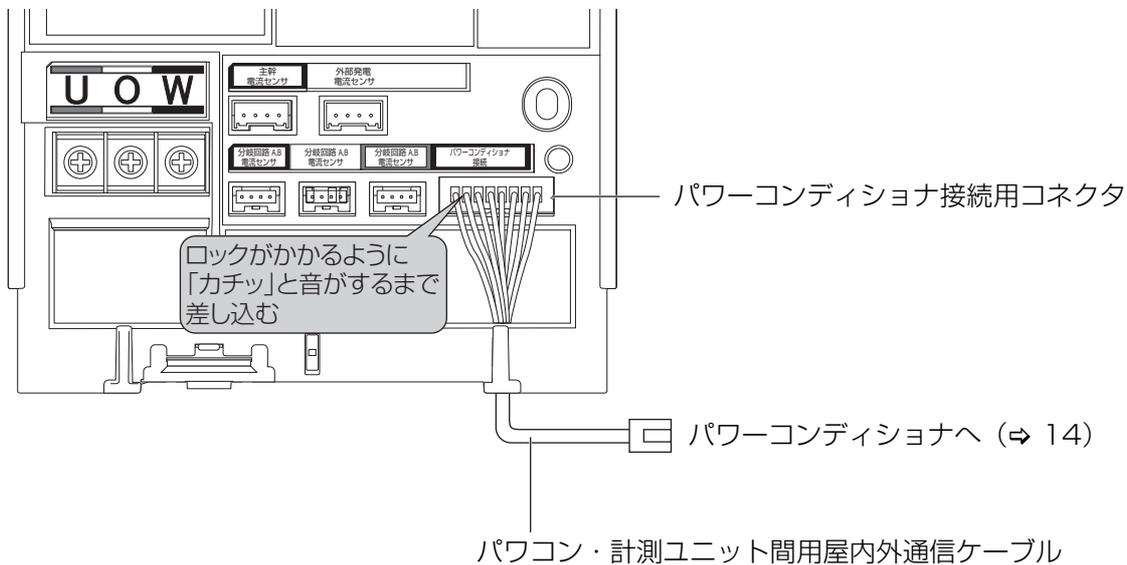
- 3か所をねじ止めしてください。
- フロントカバーは計測ユニットの施工が終わるまで外したままにしておいてください。



### 3 計測ユニットに通信ケーブルをつなぐ

計測ユニットにパワコン・計測ユニット間用屋内外通信ケーブル（同梱）をつなぐ

- パワーコンディショナ接続用コネクタに接続してください。



# 4 パワーコンディショナの配線・設定

パワーコンディショナの形式によって、設定方法や通信ケーブルの配線方法が異なりますので、パワーコンディショナの形式を確認してから設定・配線してください。

- パワーコンディショナの施工マニュアルも併せてお読みください。

## 1. パワーコンディショナのユニット No. 設定

パワーコンディショナを複数台接続する場合は、パワーコンディショナのユニット No. の設定が必要になります。パワーコンディショナ設定スイッチ (MOD キー、ENT キー、ESC キー) を操作して、設定項目の「**ユニット**」(通信ユニット No.) を変更してください。

ユニット No. が正しく設定されていないと、計測ユニットまたはカラー表示ユニットに発電量が正しく表示されません。必ず下記の表のように設定してください。ユニット No. の設定方法については、パワーコンディショナの施工マニュアルをお読みください。

| 接続台数            | ユニット No. | ユニット No. の設定            |
|-----------------|----------|-------------------------|
| パワーコンディショナ 1 台目 | 0        | 不要 (工場出荷時は「0」に設定されています) |
| パワーコンディショナ 2 台目 | 1        | 変更する必要があります。(「0」→「1」)   |
| パワーコンディショナ 3 台目 | 2        | 変更する必要があります。(「0」→「2」)   |

- 計測ユニットとの接続が近い順に、「パワーコンディショナ 1 台目」、「パワーコンディショナ 2 台目」、「パワーコンディショナ 3 台目」と表現しています。

初期設定時に確認を行うため、「施工チェックリスト」(6600653-5) にユニット No.、形式、製造番号を記入してください。

(例)

| パワーコンディショナ情報                                 |          |               |          |          |        |
|--|----------|---------------|----------|----------|--------|
| 設置台数   | 3 台      |               |          |          |        |
| パワーコンディショナのユニット No.、形式、製造番号、終端抵抗の設定をご記入ください。 |          |               |          |          |        |
| 計測ユニットから近い順に                                 | ユニット No. | 形式            | 製造番号     | 終端抵抗の設定※ |        |
|  |          |               |          | 終端抵抗 1   | 終端抵抗 2 |
| 1 台目 (計測ユニットと接続)                             | 0        | KP59R-J4-HQ-A | 15200001 |          |        |
| 2 台目   | 1        | KP59R-J4-HQ-A | 15200002 |          |        |
| 3 台目   | 2        | KP59R-J4-HQ-A | 15200003 |          |        |
| 4 台目   |          |               |          |          |        |
| 5 台目   |          |               |          |          |        |
| 6 台目 (計測ユニットから最遠)                            |          |               |          |          |        |

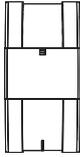
## 4 パワーコンディショナの配線・設定（つづき）

### 2. パワーコンディショナの終端抵抗設定

終端抵抗の設定を行ってください。パワーコンディショナの施工マニュアルも併せてお読みください。

#### KP □ K3-HQ を使用する場合の設定

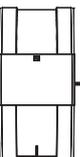
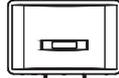
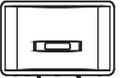
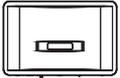
工場出荷時は、終端抵抗は「ON」に設定されています。

| 計測ユニット  | パワーコンディショナ  |   |  |
|---|---|---|--|
|   | 計測ユニットと接続   | 中間  | 計測ユニットから最遠   |
|  |  |  |  |
|   | 終端抵抗  | 終端抵抗  | 終端抵抗   |
|   | OFF   | OFF   | ON   |

- 計測ユニットと接続されているパワーコンディショナおよび中間のパワーコンディショナの終端抵抗を「OFF」にしてください。

#### KP □ M2-SJ4、KP □ M2-J4-HQ、KP □ R-HQ を使用する場合の設定

工場出荷時は、終端抵抗 1 / 終端抵抗 2 とともに「ON」に設定されています。

| 計測ユニット  | パワーコンディショナ  |        |   |        |  |        |
|---|---|--------|---|--------|--|--------|
|   | 計測ユニットと接続※1   |        | 中間※2  |        | 計測ユニットから最遠※3   |        |
|  |  |        |  |        |  |        |
|   | 終端抵抗 1  | 終端抵抗 2 | 終端抵抗 1  | 終端抵抗 2 | 終端抵抗 1   | 終端抵抗 2 |
|   | OFF   | ON     | OFF   | OFF    | ON   | ON     |

- ※ 1. 「計測ユニットと接続」のパワーコンディショナの終端抵抗 1 を「OFF」にしてください。
- ※ 2. パワーコンディショナを 3 台以上接続する場合に必要な設定です。「計測ユニットと接続」のパワーコンディショナと「計測ユニットから最遠」のパワーコンディショナ以外は、終端抵抗を「OFF」にしてください。
- ※ 3. 「計測ユニットから最遠」のパワーコンディショナの終端抵抗は「ON」のままにしてください。終端抵抗 2 の設定変更は不要です。

## 4 パワーコンディショナの配線・設定 (つづき)

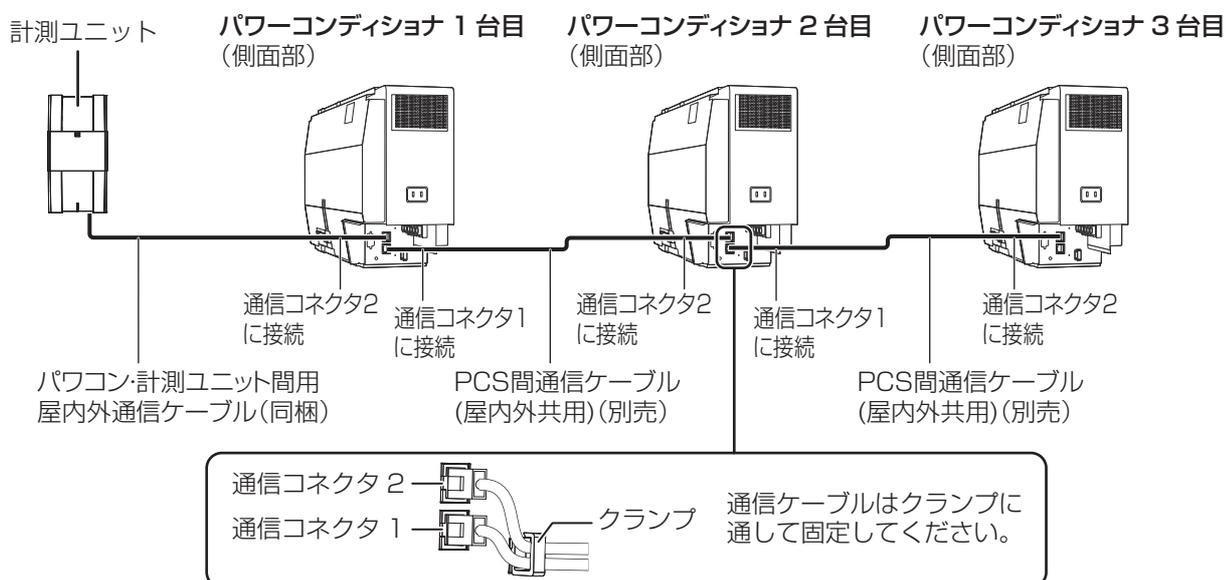
### 3. パワーコンディショナに配線する

- パワーコンディショナを複数台設置する場合は、システムの総発電量を計測するために、パワーコンディショナ間に PCS 間通信ケーブル (屋内外共用) をつないてください。

#### KP□K3-HQ への配線

計測ユニットにつないだパワコン・計測ユニット間用屋内外通信ケーブルを、パワーコンディショナの通信コネクタ 2 に差し込む

#### KP□K3-HQ



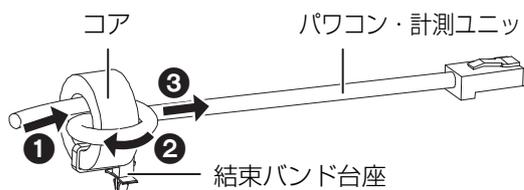
- パワーコンディショナの通信ケーブルと電力ケーブルを一緒に結束しないでください。

## 4 パワーコンディショナの配線・設定 (つづき)

KP □ M2-J4-HQ、KP □ M2-SJ4 への配線

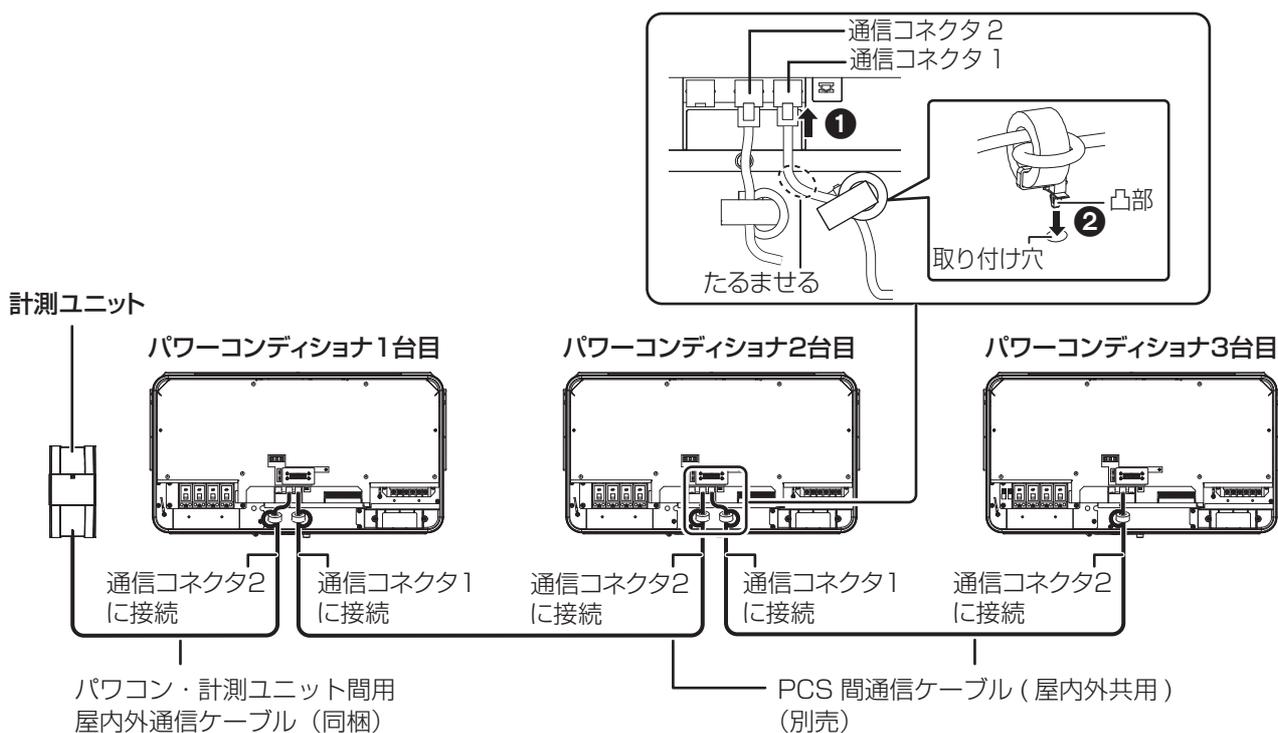
### 1 計測ユニットにつないだパワコン・計測ユニット間用屋内外通信ケーブルを、パワーコンディショナに同梱のコアに巻きつける

- パワコン・計測ユニット間用屋内外通信ケーブルは、結束バンド台座の反対側から通してください。



- コアを挿入しない場合は、ノイズにより計測ユニットと通信できない可能性があります。
- 出力制御が有効な場合は発電停止になる可能性があります。

### 2 パワコン・計測ユニット間用屋内外通信ケーブルを、パワーコンディショナの通信コネクタ 2 に差し込み、結束バンド台座の凸部を取り付け穴に押し込む

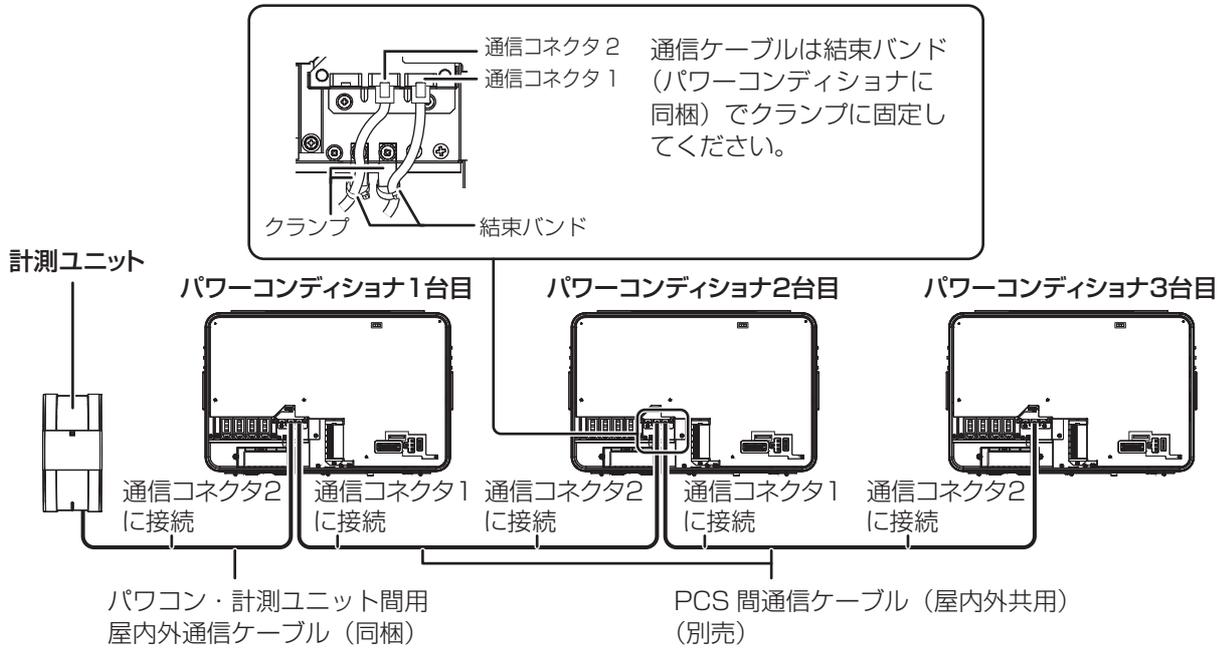


- パワーコンディショナの通信ケーブルと電力ケーブルを一緒に結束しないでください。

## 4 パワーコンディショナの配線・設定 (つづき)

### KP□R-HQ への配線

計測ユニットにつないだパワコン・計測ユニット間用屋内外通信ケーブルを、パワーコンディショナの通信コネクタ2に差し込む



- パワーコンディショナの通信ケーブルと電力ケーブルを一緒に結束しないでください。

# 5 LAN ケーブルの配線

計測ユニットとルータ間は、有線接続または無線接続で接続します。有線接続する場合は、LAN ケーブルの配線を行ってください。

有線接続の場合は、手順 1 に進んでください。

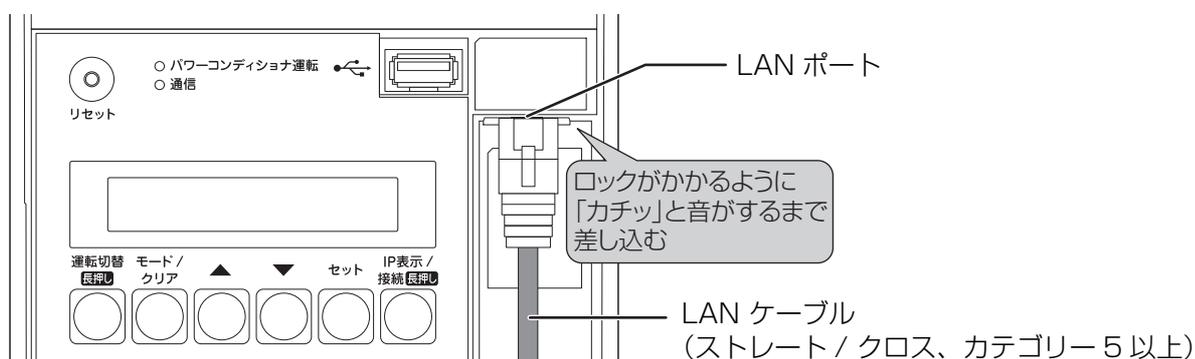
無線接続の場合や接続方法が分からない場合：LAN ケーブルは接続せずに、下記に進んでください。

**余剰買取** 「6 主幹用電流センサの設置」(⇒ 18)

**全量買取** 「7 電圧検知用ケーブルの配線」(⇒ 20)

## 1 計測ユニットに LAN ケーブルをつなぐ

- LAN ポートに接続してください。



- LAN ポートに PCS 間通信ケーブル（屋内外共用）（別売）を接続しないでください。

## 2 (お客様（有線 LAN ルータの所有者）の接続許可を得ている場合のみ)

### 有線 LAN ルータに LAN ケーブルをつなぐ

- 計測ユニットは DHCP に対応しており、DHCP 対応ルータと接続すると自動で IP アドレスを割り振られます。以上のことをお客様にお伝えし、接続許可を得た上でルータに LAN ケーブルをつないでください。
- 計測ユニットの LAN 設定方法については、「取扱説明書」(6601280-2) に記載しています。
- お客様の接続許可を得られない場合は、LAN ケーブルの逆端（ルータ側）を有線 LAN ルータに接続しないでください。
- 有線 LAN ルータの取扱説明書も併せてお読みください。

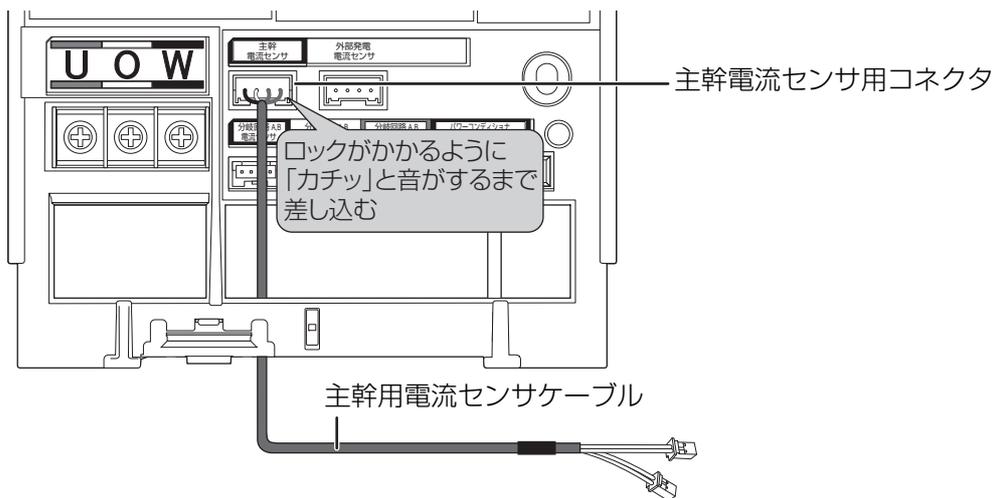
# 6 主幹用電流センサの設置 余剰買取

主幹用電流センサを取り付ける際には、以下の項目に注意してください。

- 主幹用電流センサの向き、設置場所を誤ると正確な計測ができません。
- 主幹用電流センサは、落としたり衝撃を加えたりすると正確な計測ができなくなります。

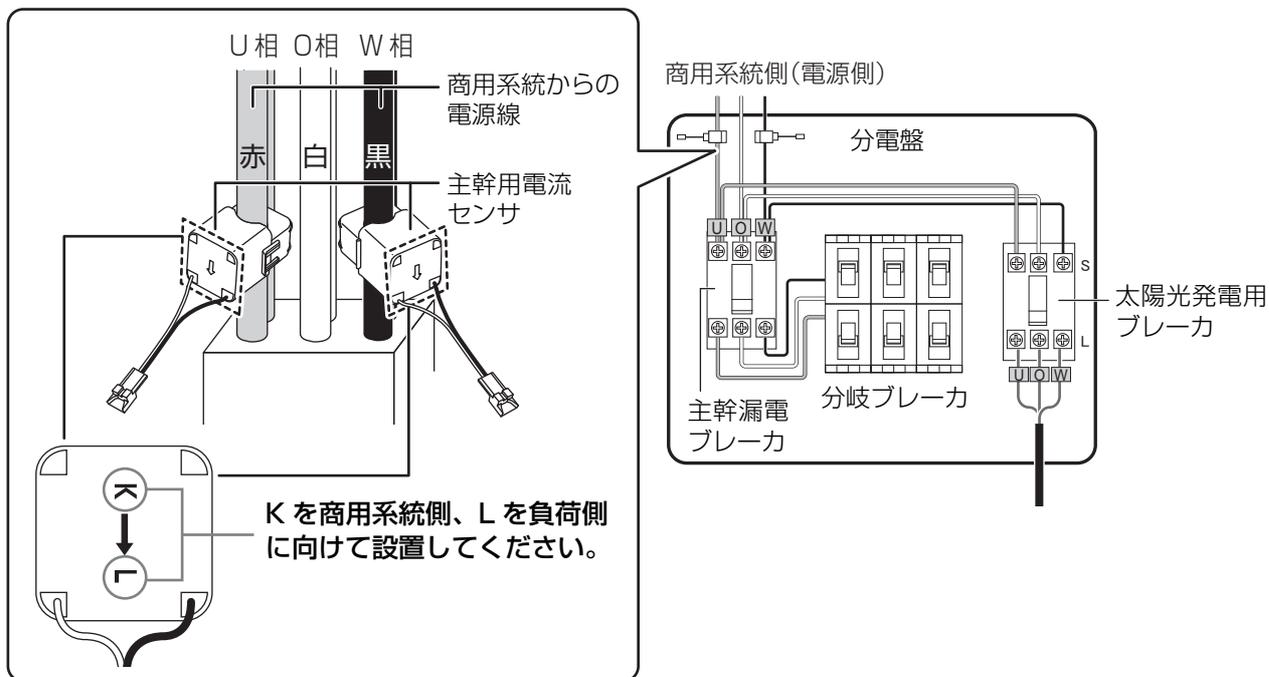
## 1 計測ユニットに主幹用電流センサケーブル（同梱）をつなぐ

- 主幹電流センサ用コネクタに接続してください。



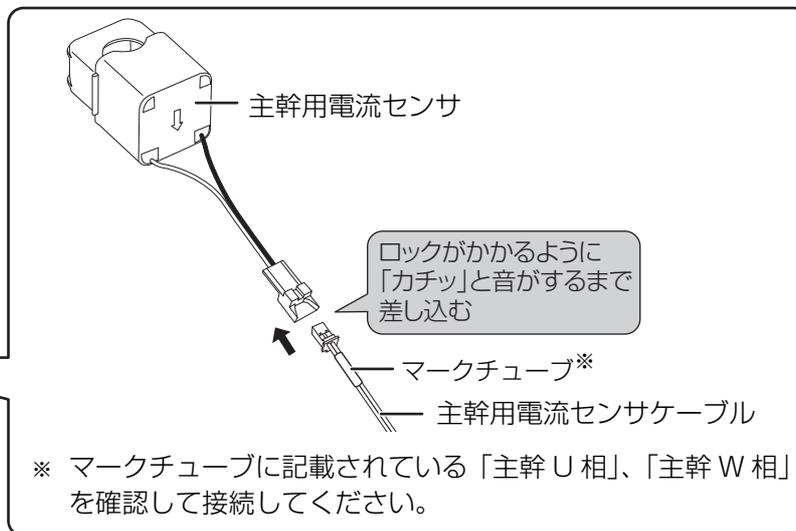
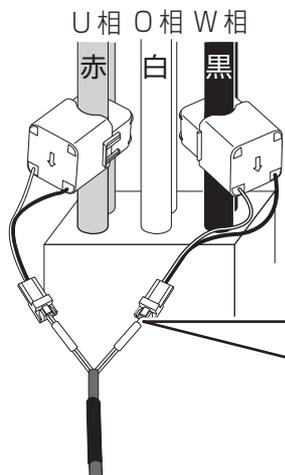
## 2 主幹漏電ブレーカの1次側に主幹用電流センサ（同梱）を取り付ける

- 太陽光発電用ブレーカより系統側に設置してください。
- ロックがかかるように取り付けてください。（「カチッ」と音がします）



## 6 主幹用電流センサの設置 余剰買取 (つづき)

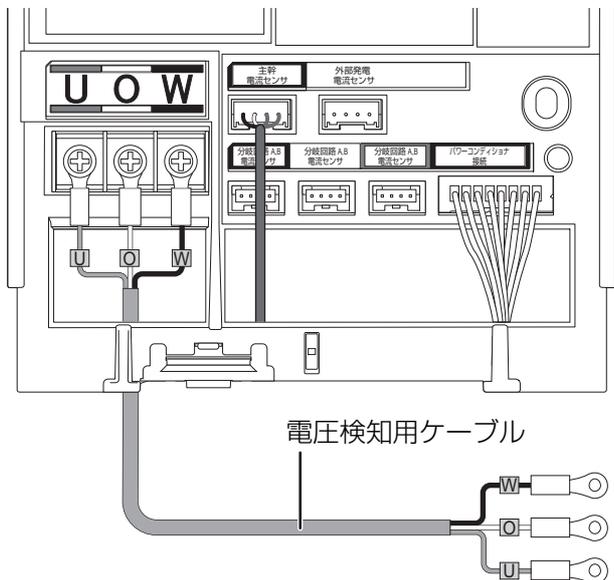
### 3 主幹用電流センサに主幹用電流センサケーブルをつなぐ



# 7 電圧検知用ケーブルの配線

計測ユニットと分電盤の計測ユニット用ブレーカを電圧検知用ケーブルでつなぎます。

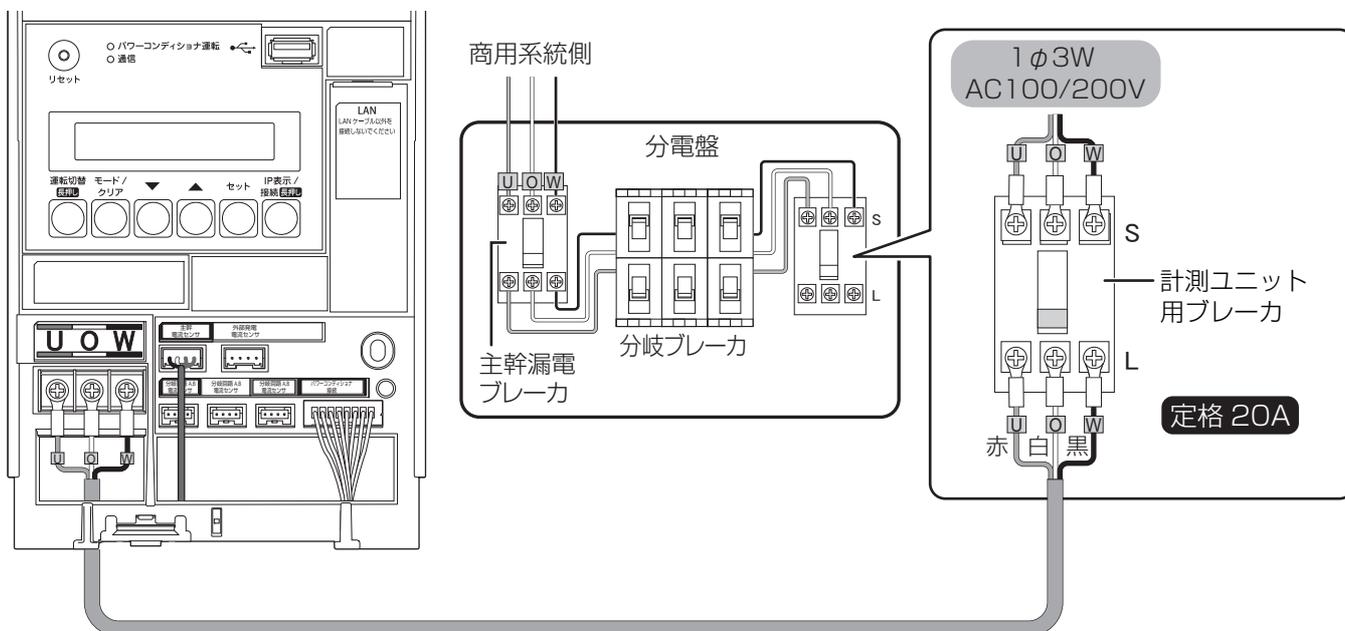
## 1 計測ユニットの端子台 U、O、W 端子に電圧検知用ケーブルをつなぐ



- 配線時の締め付けトルク：  
1.4 ± 0.2N・m
- 電動ドライバやインパクトドライバ等の過剰トルクがかかる工具は使用しないでください。

## 2 配線先の計測ユニット用ブレーカをオフにする

## 3 計測ユニット用ブレーカの 2 次側に、電圧検知用ケーブルをつなぐ

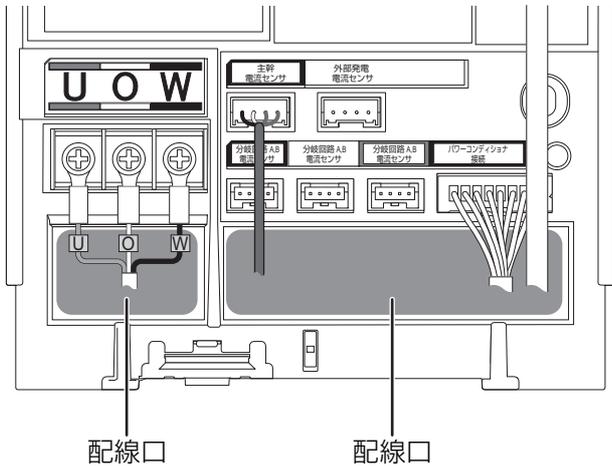


## 8 設置／配線完了後の作業

計測ユニットの配線口にパテ埋めし、フロントカバーを取り付けてください。

### 計測ユニットの配線口をパテ埋めする

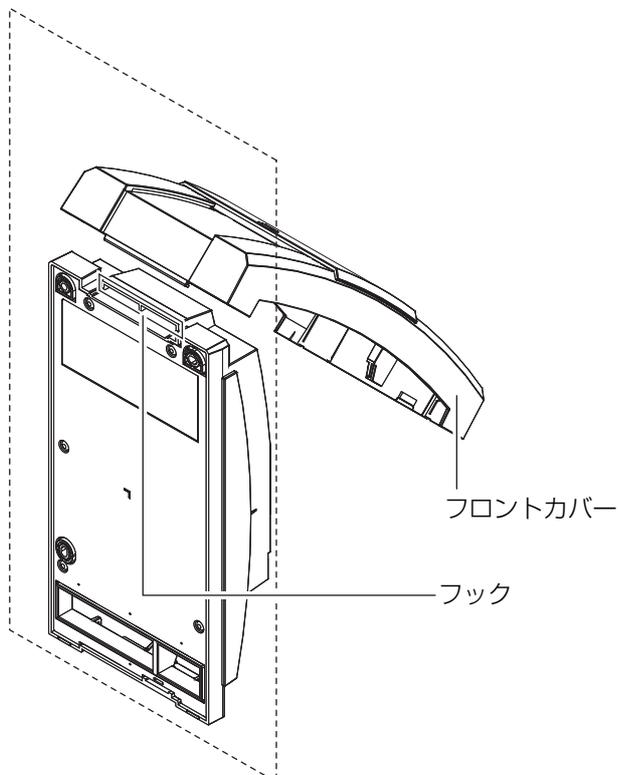
ごみ、ほこり、虫などの侵入を防ぐために必ずパテ埋めしてください。



※ 図は「余剰買取」の例です。

### 計測ユニットにフロントカバーを取り付ける

#### 1 フロントカバーを計測ユニット上部のフックに引っ掛ける





# 9 初期設定前の準備

## 1. 初期設定前の確認

初期設定を始める前に、以下の項目を確認してください。

- 計測ユニットの設置、配線が完了している
- 接続しているパワーコンディショナの施工が完了している  
パワーコンディショナの施工については、パワーコンディショナの施工マニュアルをお読みください。
- パワーコンディショナが起動できる日射量がある  
初期設定でパワーコンディショナと通信を行うため、パワーコンディショナが起動できる日射量があるとき（早朝・夕方を除く、照度が安定している状態）に初期設定を行ってください。

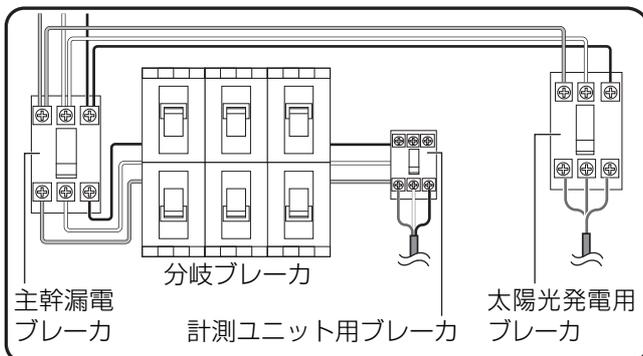
「施工チェックリスト」（同梱）でシステム構成を確認してください。

## 2. システムを起動する

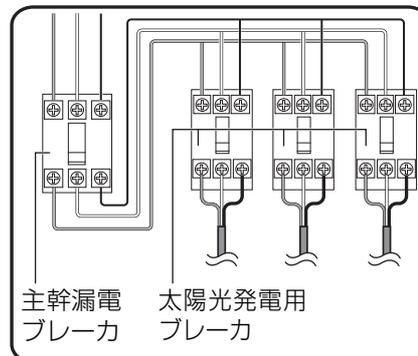
システムを起動する前に、以下の状態を確認してください。

- 接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）が**オフ**になっているか\*
- 太陽光発電用ブレーカが**オフ**になっているか\*
- パワーコンディショナの運転スイッチが**オフ**になっているか\*
- 計測ユニット用ブレーカが**オフ**になっているか

余剰買取 分電盤の例



全量買取 集電箱の例



- 計測ユニット用ブレーカは、分電盤に設置されています。

### 1 パワーコンディショナのすべての入力開閉器（または接続箱のすべての開閉器）をオンにする

- 表示部に「E I-Q」が表示され、パワーコンディショナが起動します。
- パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

### 2 計測ユニット用ブレーカをオンにする

### 3 計測ユニットの起動を確認する

- 起動すると状態表示ランプが緑色点滅します。



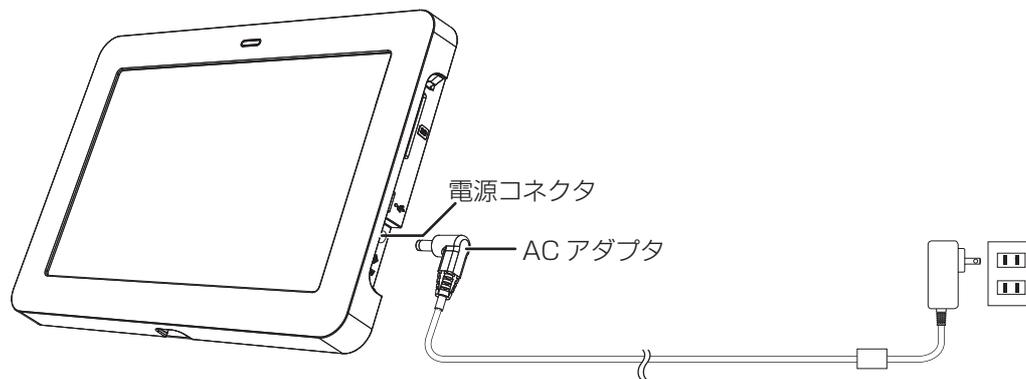
# 10 初期設定する

カラー表示ユニットあり

## 1. カラー表示ユニットの電源を入れる

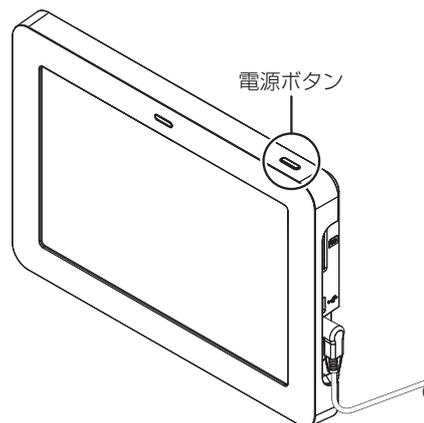
### 1 カラー表示ユニットを計測ユニットの近くに移動する

- カラー表示ユニットの電源コネクタに AC アダプタ（同梱）をつなぎ、コンセントに差し込んでください。



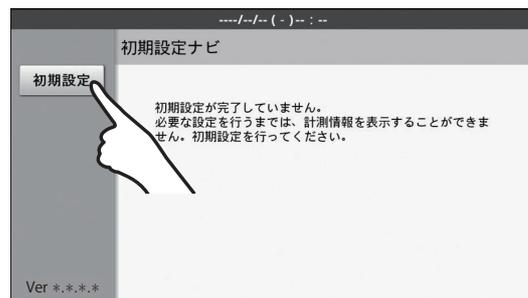
### 2 カラー表示ユニットの電源ボタンを押す

- カラー表示ユニットの電源が入り、起動画面が表示されます。その後、計測ユニットとの無線接続が完了すると、「初期設定ナビ」画面が表示されます。



### 3 「初期設定」を選ぶ

- カラー表示ユニットに「計測ユニットに接続できません。」と表示される場合は、下記を確認してください。
  - 計測ユニット用ブレーカがオンになっているか  
計測ユニットの起動は、計測ユニットの状態表示ランプの緑色点滅を確認してください。
  - カラー表示ユニットと計測ユニットの間に障害物がないか



#### ■ 前の画面に戻るには

「戻る」を選ぶと、一つ前の画面に戻ります。

# 10 初期設定する カラー表示ユニットあり (つづき)

## 2. 初期設定ナビで設定する

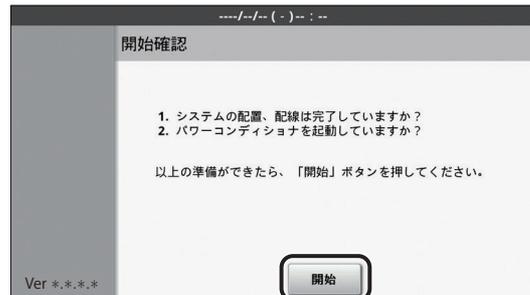
カラー表示ユニットを起動すると、「初期設定ナビ」メニュー画面が表示されます。

### 1 開始確認

初期設定を行う環境が整っていることを確認します。

「開始確認」画面のメッセージを読み、準備ができていれば「開始」を選ぶ

- パワーコンディショナの起動は、表示部の「E I-O」表示を確認してください。
- KP□R-HQ は、異常ランプの点滅でも起動を確認できます。



### 2 種別設定

買取モード（余剰買取 / 全量買取）や主幹計測の有無などのシステム構成を設定します。

- 「施工チェックリスト」（同梱）でシステム構成を確認してください。
- 初期設定が完了すると、買取モード（余剰買取 / 全量買取）は変更できません。変更する場合は、システムを完全初期化し、もう一度初期設定を行う必要があります。（⇒ 施行・保守マニュアル（6601239-0）完全初期化）

#### 1 「買取モード」を「余剰買取」または「全量買取」に設定する



#### 2 (手順1で「全量買取」を選んだ場合のみ) 「主幹」を「なし」に設定する



- 手順1で「余剰買取」を選んだ場合は、「あり」固定となります。手順3に進んでください。

#### 3 「外部発電」を「なし」に設定する



- 手順1で「全量買取」、手順2で「なし」を選んだ場合は、「なし」固定となります。手順4に進んでください。

#### 4 「▼」 / 「▲」で計測ユニットに接続している「パワーコンディショナ台数」を選ぶ



テキストボックス

- 1 (台) ~ 6 (台) の範囲で選んでください。
- テキストボックスに数字を入力して設定することもできます。

## 10 初期設定する カラー表示ユニットあり (つづき)

### 5 「▼」 / 「▲」で「分岐計測数」を「0」に設定する



テキストボックス

- テキストボックスに数字を入力して設定することもできます。

### 6 「決定」を選ぶ



- 前の画面に戻るには「戻る」を選ぶと、一つ前の画面に戻ります。

## 3 日時設定

システムの日時を設定します。

日時設定は最初から正しく設定してください。後から日時を大幅に修正すると、実績データ、履歴データに影響を与える場合があります。

### 1 「年」、「月」、「日」、「時」、「分」のドロップダウンリストボックスで現在の日時を選ぶ

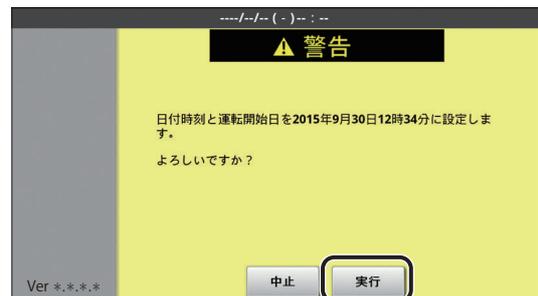


- 「年」は2015から2037まで設定できます。
- 「時」は0から23まで設定できます。

### 2 「決定」を選ぶ



### 3 設定内容を確認し、「実行」を選ぶ



- 設定をやり直す場合は、「中止」を選んで、手順1からもう一度設定してください。
- 日時更新画面が表示され、日時設定が完了すると、自動的に「パワーコンディショナ設定」画面が表示されます。
- 時計の秒は、日時の設定が完了した時点で「00秒」から始まります。

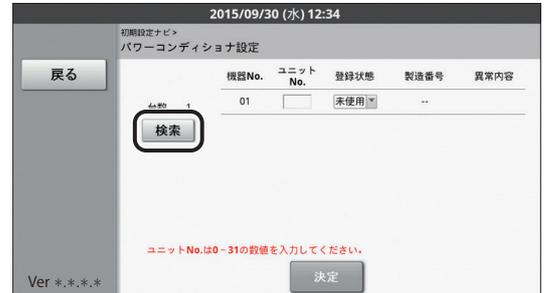
# 10 初期設定する カラー表示ユニットあり (つづき)

## 4 パワーコンディショナ設定

使用するパワーコンディショナを登録します。(最大 6 台まで)

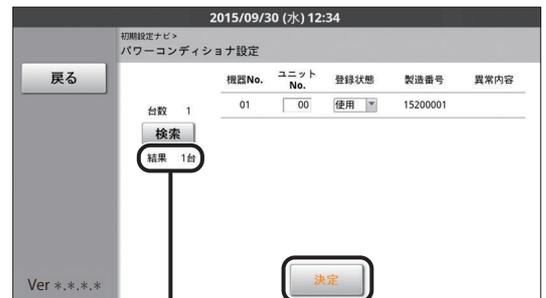
### 1 「検索」を選ぶ

- 計測ユニットが、接続されているパワーコンディショナを自動で検索します。検索中は、画面中央に「LOADING」が表示されます。



### 2 下記の内容を確認し、「決定」を選ぶ

- 検索結果に「2 種別設定」(⇒ 25) で設定したパワーコンディショナの台数が表示される。
- 各パワーコンディショナのユニット No. が表示され、登録状態が「使用」になっている。
- 計測ユニットに接続されているパワーコンディショナの製造番号が、製造番号欄に表示されている。



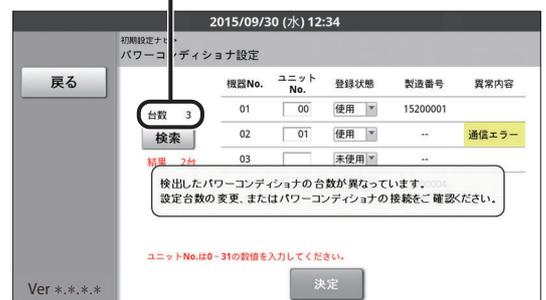
検索結果

- 異常内容欄に「通信エラー」と表示され、背景が黄色になっているパワーコンディショナは、ユニット No. が重複している、または終端抵抗の設定が間違っている可能性があります。各パワーコンディショナのユニット No. および終端抵抗の設定を確認した後、手順 1 からもう一度設定してください。
  - ユニット No. 設定については、パワーコンディショナの施工マニュアルをお読みください。
  - 終端抵抗設定については、「2. パワーコンディショナの終端抵抗設定」(⇒ 13)をお読みください。

- 「検出したパワーコンディショナの台数が異なります。」と表示される場合は、下記を確認した後、手順 1 からもう一度設定してください。

- パワーコンディショナの台数の設定が正しいか  
台数が間違っている場合は、「2 種別設定」(⇒ 25) に戻り、正しい台数を入力してください。
- 計測ユニットの配線が正しいか
- パワーコンディショナの配線・設定が正しいか
- パワーコンディショナが起動しているか
- パワーコンディショナのユニット No. が重複していないか
- パワーコンディショナの終端抵抗が正しく設定されているか

パワーコンディショナの台数



# 10 初期設定する カラー表示ユニットあり (つづき)

## 5 系統状態確認

電圧検知用ケーブルの配線に誤りがないことを確認します。

### 1 「系統電圧の状態」が「正常」になっていることを確認する

- 「過電圧」または「不足電圧」と表示される場合は、電圧検知用ケーブルの配線を確認してください。(⇒ 20)



### 2 「決定」を選ぶ



# 10 初期設定する カラー表示ユニットあり (つづき)

## 6 主幹電流センサ 余剰買取

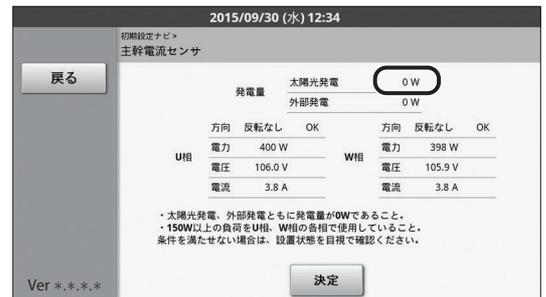
電力の計測状態により、主幹用電流センサの設置方向を確認します。

### ■ 準備

- 主幹用電流センサの方向の確認を開始する前に U 相側、W 相側のコンセントにそれぞれ 150W 以上の電化製品（掃除機、ドライヤーなど）を接続し、運転させてください。  
150W 以上の消費電力の機器を用意できていない場合は、この画面で方向確認ができませんので主幹用電流センサの設置状態を目視で確認し、「決定」を選んでください。警告画面が表示されるので「実行」を選んだ後、「2 種別設定」(⇒ 25) の設定に応じて下記に進んでください。

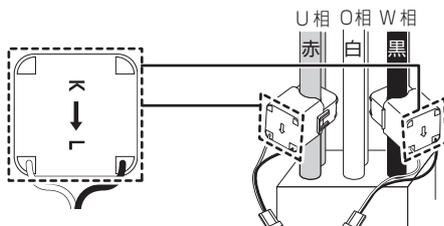
### 1 「太陽光発電」が「0W」になっていることを確認する

- 「0W」になっていない場合は、パワーコンディショナの運転スイッチをオフにして運転を停止してください。

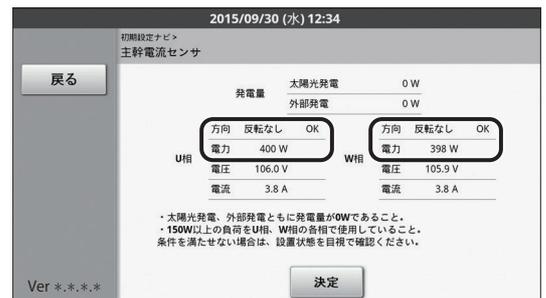


### 2 「U相」、「W相」それぞれの「方向」、「電力」の項目を確認する

- 「方向」: 「反転なし OK」と表示されていることを確認してください。「反転なし NG」と表示される場合は、主幹用電流センサの設置方向が間違っています。設置方向を確認してください。

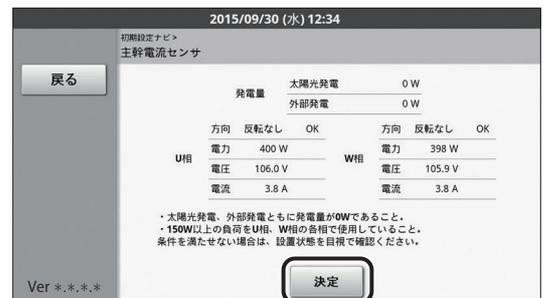


- 「電力」: 黒字で150W以上の値が表示されていることを確認してください。赤字で150W未満の値が表示されている場合は、U相側、W相側のコンセントに電化製品を追加してください。



### 3 「決定」を選ぶ

- 警告画面が表示される場合は、「中止」を選び、手順 1～2 の表示内容を再度確認してください。



# 10 初期設定する カラー表示ユニットあり (つづき)

## 7 初期設定確認

初期設定の設定内容を確認します。

### 1 日時が正しく設定されていることを確認する



- 初期設定で設定された日時が運転開始日として登録されます。

### 3 「パワーコンディショナ」を選び、初期設定内容を確認し、「決定」を選ぶ



- 「詳細」を選ぶと、各パワーコンディショナの詳細情報を確認できます。

### 2 「システム1」を選び、初期設定内容を確認する

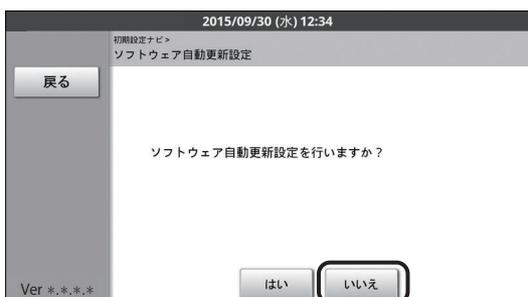


## 8 ソフトウェア自動更新設定

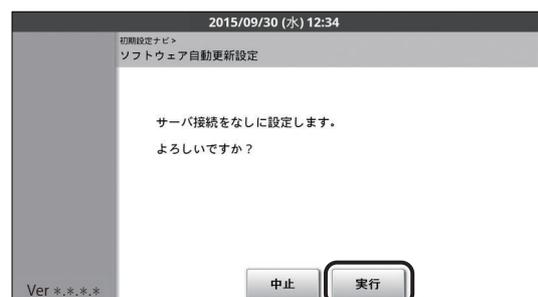
ソフトウェア自動更新設定は、ソフト更新サーバとの接続に関する設定です。工場出荷時は、ソフト更新サーバと接続しない設定になっており、設定の変更はお客様に行っていただきます。そのため、初期設定時は、設定を変更せずに初期設定を終了してください。

- 設定方法については、取扱説明書に記載しています。

### 1 「いいえ」を選ぶ



### 2 「実行」を選ぶ

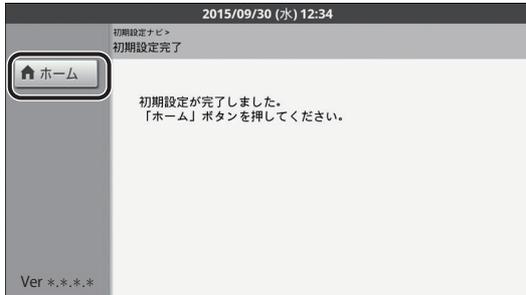


## 10 初期設定する カラー表示ユニットあり (つづき)

### 9 初期設定の終了

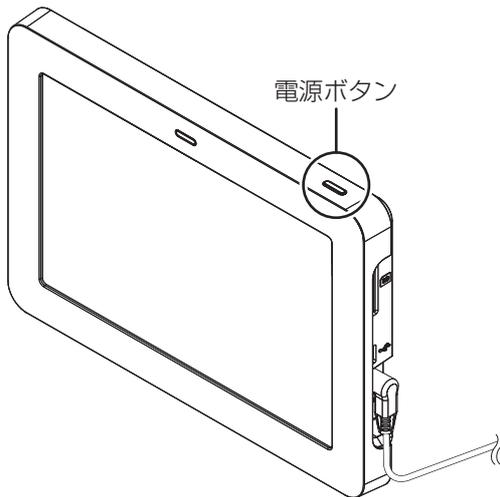
初期設定の設定内容を確認します。

#### 1 「ホーム」を選ぶ



- ホーム画面が表示されます。

#### 2 カラー表示ユニットの電源ボタンを約1秒押す



- 「電源を切る」画面が表示されます。

#### 3 「OK」を選び、電源を切る



#### 4 ACアダプタをコンセントから抜き、カラー表示ユニットを設置する場所へ移動する

HEMS コントローラが設置されている場合は、HEMS 接続設定を行ってください。HEMS 接続設定について詳しくは、「施工・保守マニュアル」(6601239-0)をWEB サイトから入手して、お読みください。また、HEMS コントローラの施工マニュアルも併せてお読みください。

KP □ M2-SJ4、KP □ M2-J4-HQ、KP □ R-HQ の場合

以上で、初期設定は完了です。「12 運転停止 / 再開の切り替え操作確認」(⇒ 36)に進んでください。

KP □ K3-HQ の場合

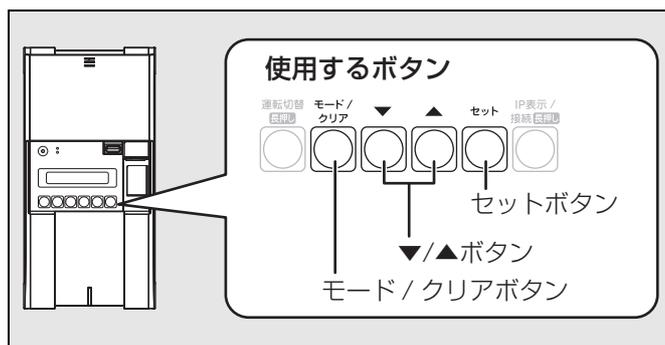
以上で、初期設定は完了です。「13 カラー表示ユニットの設置」(⇒ 38)に進んでください。

# 11 初期設定する

カラー表示ユニットなし

計測ユニットを操作して、初期設定を行います。

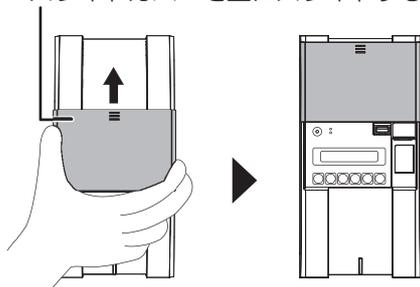
- 「施工チェックリスト」(同梱) でシステム構成を確認してください。
- 初期設定が完了すると、買取モード(余剰買取/全量買取)は変更できません。変更する場合は、システムを完全初期化し、もう一度初期設定を行う必要があります。(⇒ 施行・保守マニュアル(6601239-0) 完全初期化)



- 初期設定中に前の設定をやり直す場合は、モード/クリアボタンを押してください。

## 1 計測ユニットのスライドカバーを開ける

スライドカバーを上をスライドする



- 計測ユニットの表示部が消灯している場合は、セットボタンを押して表示部を点灯させてください。
- 操作が終わったら、スライドカバーは必ず閉めてください。

## 2 表示部に「シヨキセッテイカイシ」が表示されていることを確認して、セットボタンを押す

シヨキセッテイカイシ    >>

## 3 ▼/▲ボタンで買取モードを選び、セットボタンを押す

カイトリモード  
> ヨジョウ

- 「ヨジョウ」または「ゼンリョウ」を選んでください。

## 4 (手順3で「ゼンリョウ」を選んだ場合のみ) ▼/▲ボタンで主幹計測の有無を選び、セットボタンを押す

シュカンセツゾク  
> アリ

- 「ナシ」を選んでください。

## 5 ▼/▲ボタンで外部発電計測の有無を選び、セットボタンを押す

ガイブハツデン  
> アリ

- 「ナシ」を選んでください。
- 手順3で「ゼンリョウ」、手順4で「ナシ」を選んだ場合は、「ナシ」固定となります。手順6に進んでください。

## 6 日時を設定する

ジコク  
> 15/01/01    00:00

- ▼/▲ボタンで数値を変更し、セットボタンを押してください。この操作を繰り返して、年/月/日 時:分を設定してください。
- 「年」は15(2015)から37(2037)まで設定できます。

# 11 初期設定する カラー表示ユニットなし (つづき)

## 7 パワーコンディショナを登録する

- ① ▼/▲ボタンで、設置されているパワーコンディショナの台数 (最大 6 台) を選び、セットボタンを押す

●接続されているパワーコンディショナを自動で検索します。

例) パワーコンディショナを 3 台設置している場合

PCS トウロク  
> 3

- 「PCS トウロク ケンシュツチュウ...」の表示後、「PCS トウロク 3/3 OK」と表示されます。

PCS トウロク \*  
3 / 3 OK

- 「NG」が表示されている場合は、パワーコンディショナと通信していません。  
以下の場合は、登録された 3 台中 1 台が OK であり、2 台が NG を示します。

PCS トウロク \*  
1 / 3 NG

下記を確認した後、モード / クリアボタンを押して、もう一度設定してください。

- 計測ユニットの配線が正しいか
- パワーコンディショナの設定台数が正しいか
- パワーコンディショナの配線が正しいか
- パワーコンディショナが起動しているか
- パワーコンディショナのユニット No. が重複していないか
- パワーコンディショナの終端抵抗が正しく設定されているか

(⇒ パワーコンディショナの施工マニュアル)

- ② ▼/▲ボタンで、各パワーコンディショナの機器 No.、ユニット No.、シリアル No. (製造番号) を確認して、セットボタンを押す

機器 No.                      ユニット No.  
PCS 01 (00) \*  
S/N 15200001  
シリアル No. (製造番号)

- ③ 「No」を選んでセットボタンを押す

PCS トウロク  
> No ヘンコウシマスカ? No

## 8 系統状態を確認する

ケイトウジョウタイ  
カクニン

- ① セットボタンを押す  
② 「ケイトウデンアツ (U/W) OK」と表示されていることを確認して、セットボタンを押す

ケイトウデンアツ (U/W) OK  
105.9V / 105.8V

## 9 (手順 3 で「ヨジョウ」を選んだ場合のみ) 主幹用電流センサの方向を確認する

シュカンケイソクセンサ  
ホウコウカクニン

- 主幹用電流センサの方向の確認を開始する前に、U 相側、W 相側のコンセントにそれぞれ 150W 以上の電化製品 (掃除機、ドライヤーなど) を接続し、運転させてください。

- ① セットボタンを押す  
② 「デンリョク (ハツデン) OK」と表示され、パワーコンディショナの発電電力が「0W」になっていることを確認し、▼/▲ボタンを押す

デンリョク (ハツデン) OK\*  
PCS: 0W

パワーコンディショナの発電電力

- ③ 「ケイトウデンリョク OK」と表示され、U 相、W 相共に「+150W」以上になっていることを確認して、セットボタンを押す

ケイトウデンリョク OK\*  
U : +400W    W : +398W

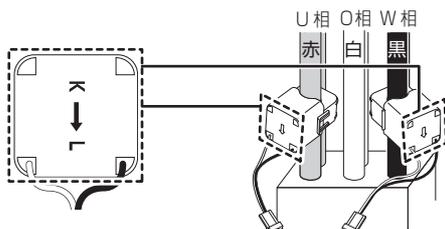
- 150W 以上の消費電力の機器を用意できていない場合は、この画面で方向確認ができませんので、主幹用電流センサの設置状態を目視で確認し、セットボタンを押してください。  
●正の値で 150W 未満の数値が出ている場合は、U 相側、W 相側のコンセントに電化製品を追加してください。

# 11 初期設定する カラー表示ユニットなし (つづき)

- ④ 「シュカンケイソクセンサ OK」と表示されていることを確認して、セットボタンを押す

シュカンケイソクセンサ  
OK

- 「ハンテイデキズ」と表示された場合もセットボタンを押して、次の手順に進んでください。
- 「ギャクセツソク」と表示された場合は、主幹用電流センサの設置方向が間違っています。設置方向を確認してください。



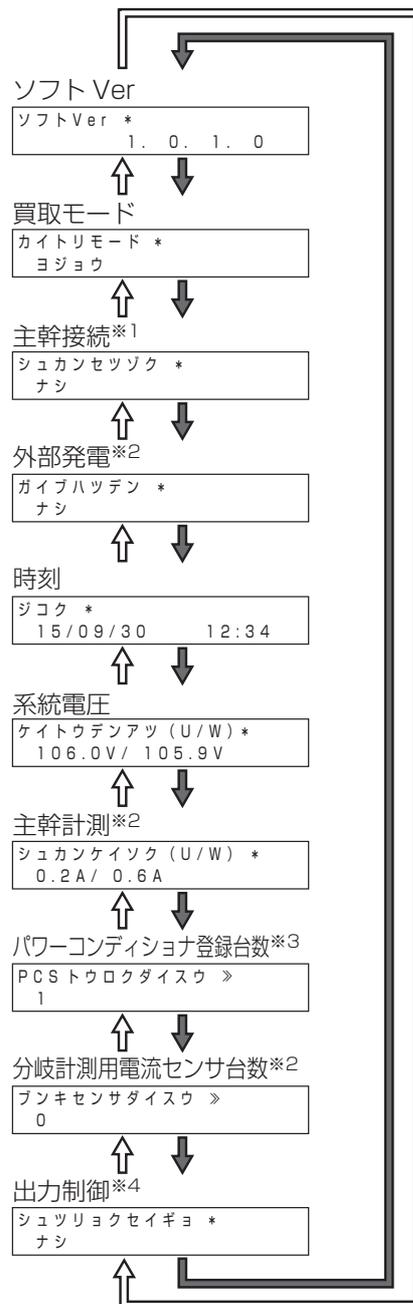
- 10** (手順3で「ヨジョウ」を選んだ場合のみ)  
▼/▲ボタンで「0」を選び、セットボタンを押す

ブンキセンサ  
> ダイスウ?     0

## 11 システム情報を確認する

システムジョウホウカクニン  
> ヒョウジシマスカ?     Yes

- ① ▼/▲ボタンで「Yes」を選び、セットボタンを押す
  - 確認しない場合は「No」を選び、手順12に進んでください。
- ② ▼/▲ボタンで下記のシステム情報を表示させ、設定した内容が正しいか確認する



↑ (白色矢印) : ▼ボタン押す  
↓ (灰色矢印) : ▲ボタン押す

## 11 初期設定する カラー表示ユニットなし (つづき)

- ※ 1. 「カイトリモード」が「ヨジョウ」に設定されている場合は表示されません。
- ※ 2. 「カイトリモード」が「ゼンリョウ」に設定されており、「シュカンセツゾク」が「ナン」に設定されている場合は表示されません。
- ※ 3. 「PCS トウロクダイスウ」の表示中にセットボタンを押すと「PCSO1」が表示されます。  
▼ / ▲ ボタンで各パワーコンディショナの設定を確認できます。
  - モード/クリアボタンを押すと「PCS トウロクダイスウ」の表示に戻ります。
- ※ 4. 初期設定時に出力制御は設定できません。「施工・保守 補足説明書(出力制御編)」(6601187-3)をお読みください。

### ③ モード/クリアボタンを押す

## 12 ソフトウェア自動更新設定を行う

ソフトウェア自動更新設定は、ソフト更新サーバとの接続に関する設定です。工場出荷時は、ソフト更新サーバと接続しない設定になっており、設定の変更はお客様に行っていただきます。そのため、初期設定時は、設定を変更せずに初期設定を終了してください。

- 設定方法については、取扱説明書に記載しています。

ソフトジドウコウシンヲ  
セツテイシマスカ? No

- ▼ / ▲ ボタンで「No」を選び、セットボタンを押してください。

## 13 初期設定を終了する

ショキセツテイヲ  
シュウリョウシマスカ? Yes

- ▼ / ▲ ボタンで「Yes」を選び、セットボタンを押してください。
- 設定をやり直す場合は、▼ / ▲ ボタンで「No」を選び、セットボタンを押してください。手順 7 に戻ります。

HEMS コントローラが設置されている場合は、HEMS 接続設定を行ってください。HEMS 接続設定について詳しくは、「施工・保守マニュアル」(6601239-0)を WEB サイトから入手して、お読みください。また、HEMS コントローラの施工マニュアルも併せてお読みください。

KP □ M2-SJ4、KP □ M2-J4-HQ、KP □ R-HQ  
の場合

以上で、初期設定は完了です。「12 運転停止 / 再開の切り替え操作確認」(⇒ 36)に進んでください。

KP □ K3-HQ の場合

以上で、施工は完了です。「施工チェックリスト」(同梱)に必要な事項を記入してください。

# 12 運転停止 / 再開の切り替え操作確認

接続しているパワーコンディショナが KP □ M、KP □ M-J4、KP □ M-PJ4、KP □ M-SJ4、KP □ M2、KP □ M2-J4、KP □ M2-PJ4、KP □ M2-SJ4、KP □ R または KPK-A □ の場合、計測ユニットからパワーコンディショナの運転停止 / 再開の切り替えができることを確認します。

- 太陽電池が発電中に確認を行ってください。
- 計測ユニット用ブレーカ、接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチがオフの状態を確認を始めてください。\*
- 停電用コンセントに電気製品を接続せずに動作確認を行ってください。
- パワーコンディショナを複数台設置している場合は、全台一括操作となります。個別に操作することはできません。

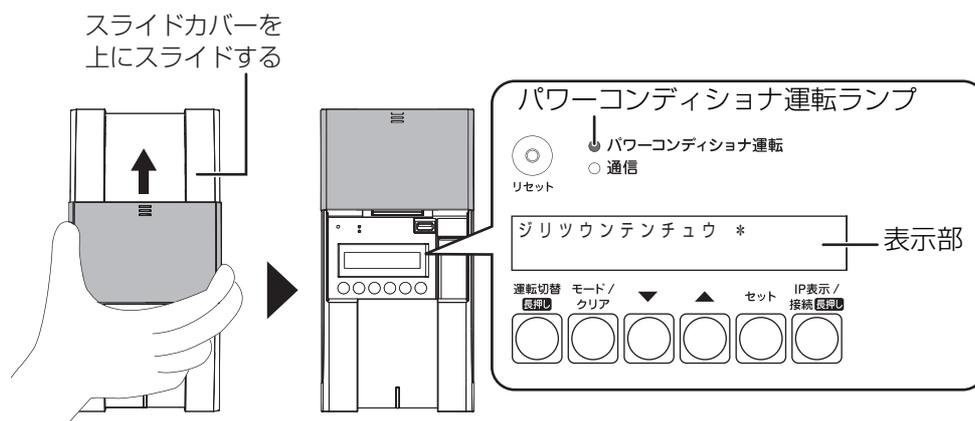
## 1 パワーコンディショナのすべての入力開閉器（または接続箱のすべての開閉器）をオンにする\*

- パワーコンディショナの起動は、表示部の「E I-O」表示を確認してください。
- KP □ R-HQ は、異常ランプの点滅でも起動を確認できます。

## 2 パワーコンディショナの運転スイッチをオンにする\*

- パワーコンディショナが自立運転を開始します。

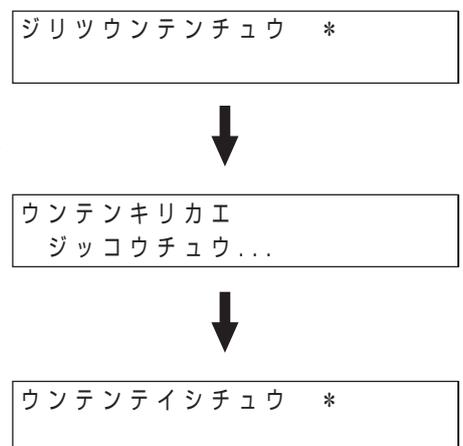
## 3 計測ユニットのスライドカバーを開ける



- 計測ユニットの表示部に「ジリツウンテンチュウ」が表示され、パワーコンディショナ運転ランプが橙色点灯します。
- 表示部が消灯している場合は、いずれかのボタンを押して表示部を点灯させてください。
- 操作が終わったら、スライドカバーは必ず閉めてください。

## 4 計測ユニットの運転切替ボタンを 2 秒以上押し続けて、パワーコンディショナの運転を停止する

- 計測ユニットの表示部に「ウンテンキリカエ ジッコウチュウ ...」、  
「ウンテンテイシチュウ」と表示され、パワーコンディショナの運転が停止することを確認してください。  
(パワーコンディショナ運転ランプが赤色点灯します)



\* パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

## 12 運転停止 / 再開の切り替え操作確認 (つづき)

### 5 計測ユニットの運転切替ボタンを2秒以上押し続けて、パワーコンディショナの運転を開始する

- パワーコンディショナが自立運転を開始し、計測ユニットの表示部に「ウンテンキリカエ ジッコウチュウ...」、「ジリツウンテンチュウ」が表示されることを確認してください。

ウンテンテイシチュウ \*



ウンテンキリカエ  
ジッコウチュウ...



ジリツウンテンチュウ \*

### 6 計測ユニットの運転切替ボタンを2秒以上押し続けて、パワーコンディショナの運転を停止する

- 計測ユニットの表示部に「ウンテンキリカエ ジッコウチュウ...」、「ウンテンテイシチュウ」と表示され、パワーコンディショナの運転が停止します。  
(パワーコンディショナ運転ランプが赤色点灯します)

ジリツウンテンチュウ \*



ウンテンキリカエ  
ジッコウチュウ...



ウンテンテイシチュウ \*

### 7 パワーコンディショナ本体の運転スイッチをオフにする

- パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

### 8 計測ユニット用ブレーカをオンにする

**カラー表示ユニットあり** 以上で、運転停止 / 再開の切り替え操作確認は、完了です。「13 カラー表示ユニットの設置」(⇒ 38) に進んでください。

**カラー表示ユニットなし** 以上で、施工は完了です。

「施工チェックリスト」(同梱) に必要事項を記入してください。

# 13 カラー表示ユニットの設置

カラー表示ユニットあり

## 1. 設置場所の無線通信状態を確認する

カラー表示ユニットの設置前に、設置場所の無線通信状態を確認してください。

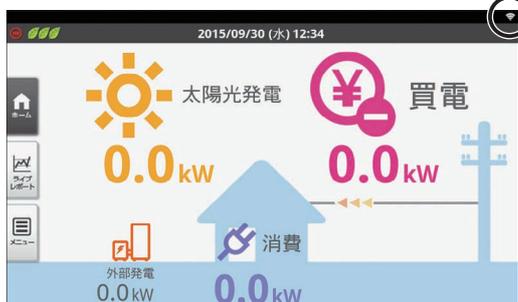
- 1 ACアダプタをカラー表示ユニットの電源コネクタへ差し込む**
- 2 ACアダプタをコンセントへ差し込み、電源ボタンを押す**
  - カラー表示ユニットの電源がオンになり、起動画面が表示されます。その後、計測ユニットとの無線接続が完了すると、ホーム画面が表示されます。
- 3 無線通信状態を確認する**
  - 普段閉めている扉などを閉めた状態で、無線LAN状態アイコンが「レベル3」以上であることを確認してください。
- 4 カラー表示ユニットの電源ボタンを約1秒押す**
  - 「電源を切る」画面が表示されます。
- 5 「OK」を選んで電源を切り、ACアダプタをコンセントから取り外す**



- 続けて、カラー表示ユニットを設置してください。

無線LAN状態アイコン

レベル0 レベル1 レベル2 レベル3 レベル4

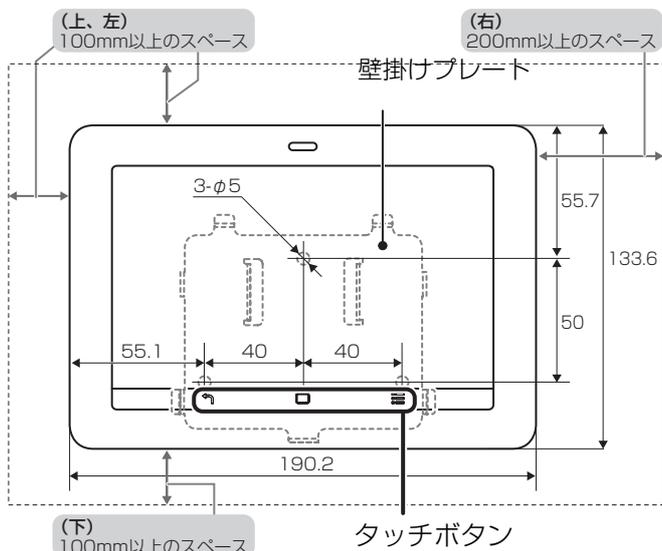


# 13 カラー表示ユニットの設置 カラー表示ユニットあり (つづき)

## 2. カラー表示ユニットを壁面に設置する

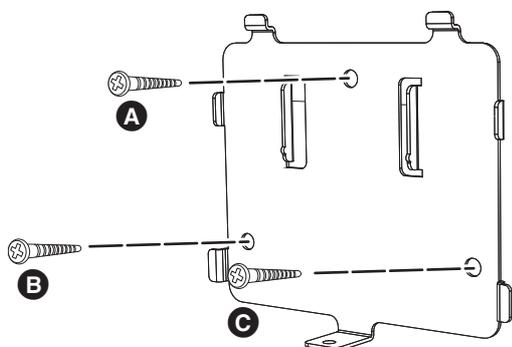
### 1 図のスペースが確保できる場所か確認する

取り付け寸法図 (単位: mm)



- カラー表示ユニットの上面、下面、左面から100mm以内、右面から200mm以内には障害物を置かないように取り付けてください。
- 垂直な壁に取り付けてください。
- 横にしたり、傾けたりして取り付けないでください。
- タッチボタンが下になるように取り付けてください。
- 薄い木材や木材ではない材質の壁にカラー表示ユニットを設置する場合は、市販のボードアンカーを使って、壁掛けプレートを壁面にしっかりと固定してください。
- コンセントの位置を確認してください。

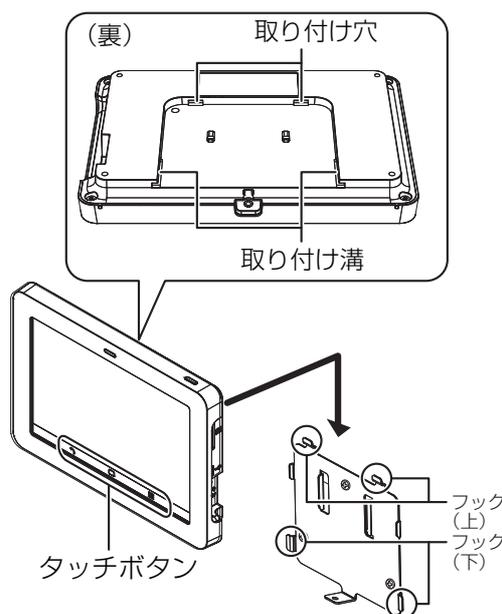
### 2 同梱の壁取り付け用木ねじ (3本) で壁面に壁掛けプレートを取り付ける



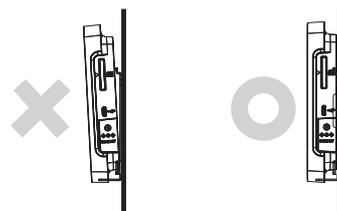
- ① **A** を仮止めし、壁掛けプレートが水平になっていることを確認する
- ② **B**、**C** をねじ止める
- ③ **A** を増し締める
  - 垂直な壁にねじで確実に固定してください。

### 3 カラー表示ユニット背面の壁掛けプレートの取り付け穴、取り付け溝に壁掛けプレートのフックが掛かるようにして、下に押し下げる

- タッチボタンが下になるように取り付けてください。

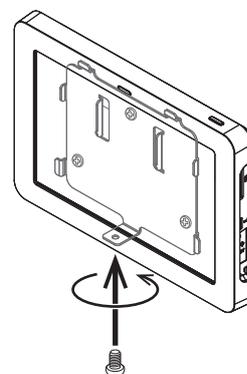


- 側面から、カラー表示ユニットが傾いていないことを確認してください。



### 4 取り付けねじを締める

締め付けトルク：  
0.5 ± 0.1N・m

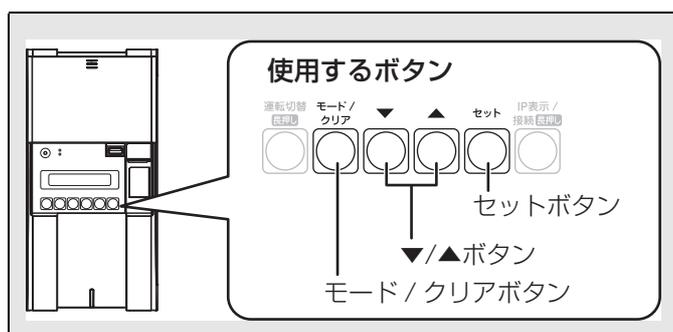


以上で、施工は完了です。「施工チェックリスト」(同梱)に必要事項を記入してください。

# その他

## メンテナンスモードの入り方と初期化

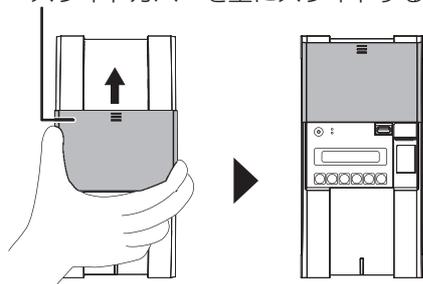
システムのトラブルが発生する可能性がありますので、工事店様以外はメンテナンスメニューを使用しないでください。



- 設定中に前の設定をやり直す場合は、モード/クリアボタンを押してください。
- 表示部の確認や操作が終わりましたら、スライドカバーは必ず閉めてください。

## 計測ユニットのスライドカバーを開ける

スライドカバーを上スライドする



- 計測ユニットの表示部が消灯している場合は、セットボタンを押して表示部を点灯させてください。
- 操作が終わったら、スライドカバーは必ず閉めてください。

## 初期化の種類について

| 初期化の種類         | 初期化の内容     |         |                 |      |
|----------------|------------|---------|-----------------|------|
|                | システム情報設定※1 | ユーザ設定※2 | 実績データ/<br>履歴データ | 通信設定 |
| 通信設定初期化 (⇒ 42) | —          | —       | —               | ○    |
| データ初期化 (⇒ 43)  | —          | —       | ○               | —    |
| 完全初期化 (⇒ 44)   | ○          | ○       | ○               | ○    |

※ 1. 下記の設定を初期化します。

種別設定/運転開始日/日時設定/パワーコンディショナ設定/主幹電流センサ設定/外部発電電流センサ設定/分岐計測センサ設定

※ 2. 下記の設定を初期化します。

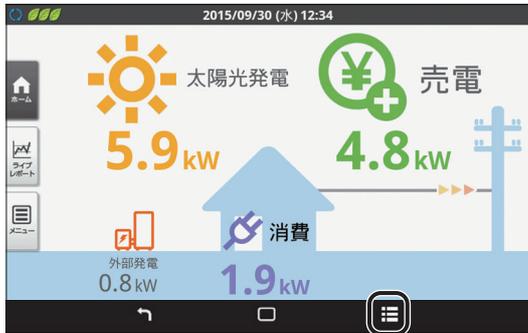
ホーム画面設定/抑制設定/計測対象名設定/グラフ目盛設定/CO<sub>2</sub>換算設定/金額換算設定/時間帯設定/節約目標設定/イベント設定

# その他 (つづき)

## 計測ユニットメンテナンスメニューを表示する カラー表示ユニットあり

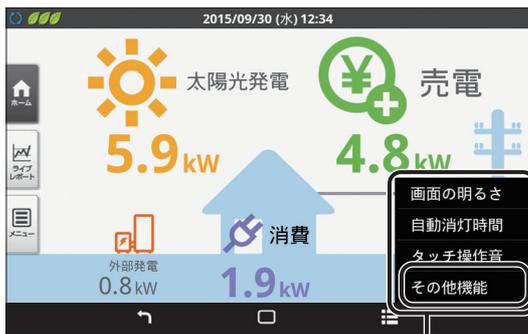
### 1 メニューボタンを選ぶ

- カラー表示ユニットメニューが表示されます。



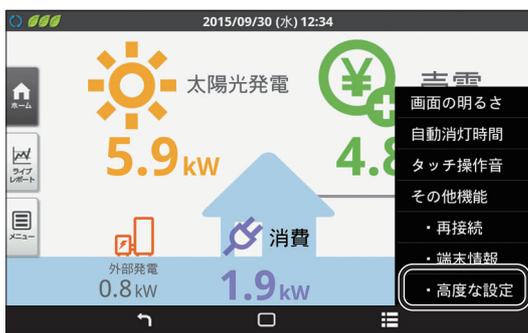
メニューボタン

### 2 「その他機能」を選ぶ



カラー表示ユニットメニュー

### 3 「高度な設定」を選ぶ

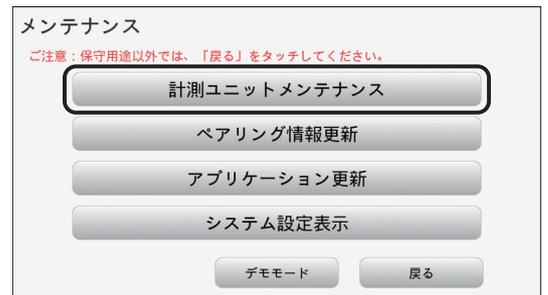


### 4 「高度な設定」画面で、タッチパネルの四隅を图中的番号順にタッチして、メンテナンスメニューを表示する



- ① (左上) を選んだ後、10 秒以内に② (右上)、③ (右下)、④ (左下) を選んでください。カラー表示ユニットメンテナンスメニューが表示されます。

### 5 「計測ユニットメンテナンス」を選ぶ



- 「計測ユニットメンテナンス」メニューが表示されます。

#### 「計測ユニットメンテナンス」メニュー



## その他 (つづき)

### 通信設定初期化

計測ユニットの通信設定（無線 LAN 設定 / 有線 LAN 設定）を工場出荷時の状態に戻します。

- 計測ユニットの通信設定の設定方法については、取扱説明書の「接続方法の選択」をお読みください。

#### 1 計測ユニットのスライドカバーを開ける (⇒ 40)

- 表示部が消灯している場合は、セットボタンを押して表示部を点灯させてください。

#### 2 メイン画面表示中に、計測ユニットのモード / クリアボタンを押す

- 「ユーザセッテイ」が表示されます。

例) 運転停止中の場合      メイン画面

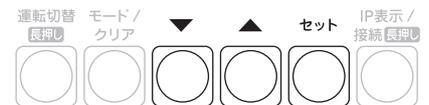
ウンテンテイシチュウ \*



ユーザセッテイ \*

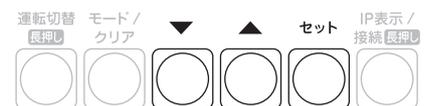
#### 3 ▼ / ▲ボタンで「システムセッテイ」を選び、セットボタンを押す

システムセッテイ »



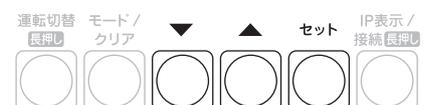
#### 4 ▼ / ▲ボタンで「ツウシンセッテイショキカ」を選び、セットボタンを押す

ツウシンセッテイショキカ »



#### 5 ▼ / ▲ボタンで「Yes」を選び、セットボタンを押す

ツウシンセッテイショキカ  
> ジッコウシマスカ? Yes



ツウシンセッテイショキカ  
OK

- 「ツウシンセッテイショキカ ジッコウチュウ ...」、 「OK」が表示され、通信設定初期化が完了します。セットボタンを押して終了してください。
- モード / クリアボタンを数回押すとメイン画面に戻ります。

- 通信設定初期化を行ったあとは、もう一度通信設定を行ってください。設定方法については、取扱説明書の「接続方法の選択」をお読みください。
- 計測ユニットを LAN ルータに接続する場合は、お客様の接続許可を得たうえで接続してください。

## その他 (つづき)

### データ初期化 カラー表示ユニットあり

計測ユニットに記録されているすべての実績データ、履歴データを消去します。(設定データは初期化されません)

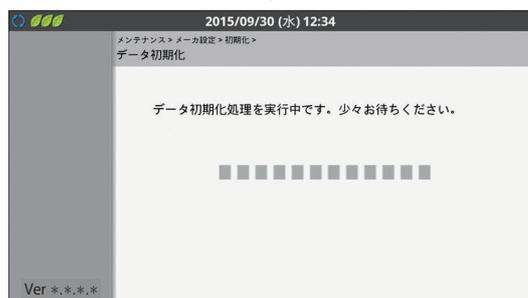
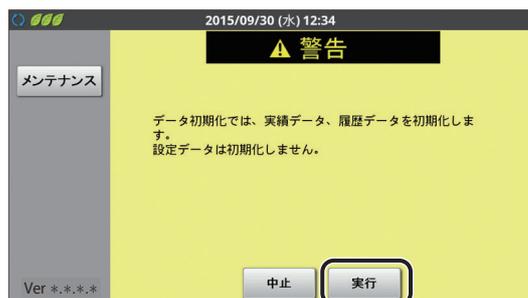
データ初期化を行うと、実績データ、履歴データが消去されますのでご注意ください。

#### 1 メニューを開く (⇒ 41)

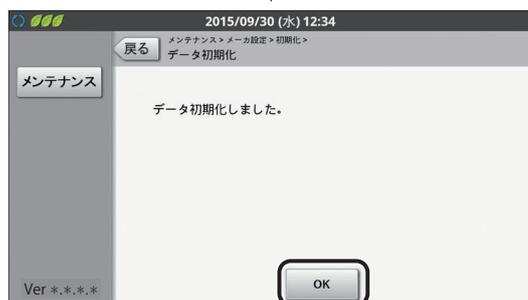
「計測ユニットメンテナンス」 → 「メーカー設定」 → 「初期化」 → 「データ初期化」

#### 2 「実行」を選ぶ

- データの初期化が開始されます。



#### 3 「OK」を選ぶ



## その他 (つづき)

### 完全初期化

計測ユニットに異常が発生し、設定を変更したり再起動しても正常に戻らない場合や、システム全体を初期化する場合は、計測ユニットを工場出荷時の状態に戻してください。(計測ユニットの完全初期化)

計測ユニットを完全初期化すると、システム情報設定、実績データ、履歴データなどのすべての情報が初期化されますのでご注意ください。

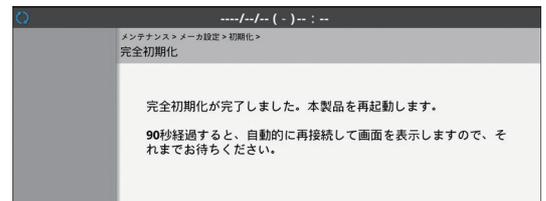
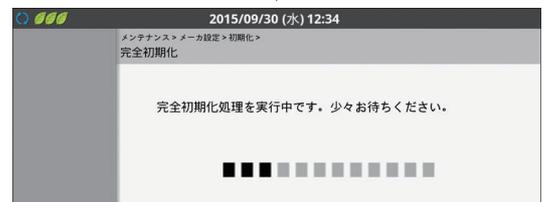
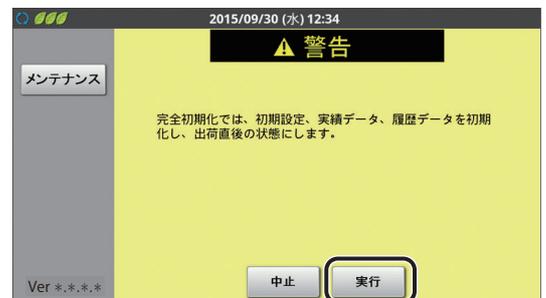
#### 完全初期化する カラー表示ユニットあり

#### 1 メニューを開く (⇒ 41)

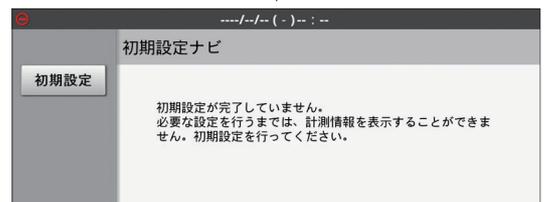
「計測ユニットメンテナンス」→「メーカー設定」→「初期化」→「完全初期化」

#### 2 「実行」を選ぶ

- 完全初期化が開始されます。



- 約 90 秒後に完全初期化が完了し、自動的に初期設定ナビ画面が表示されます。もう一度計測ユニットの初期設定を行ってください。(⇒ 32) また、取扱説明書の「接続方法の選択」をお読みになり、計測ユニットの通信設定を確認してください。



# その他 (つづき)

## 完全初期化する カラー表示ユニットなし

### 1 計測ユニットのスライドカバーを開ける (⇒ 40)

- 表示部が消灯している場合は、セットボタンを押して表示部を点灯させてください。

### 2 メイン画面表示中に、セットボタンとモード/クリアボタンを同時に2秒以上押し続ける

- 「メンテナンス」が表示されます。
- 「ユーザセッテイ」メニューやエラーコードの表示中はメンテナンスメニューを表示することはできません。モード/クリアボタンを押して、メイン画面を表示させてください。

例) 運転停止中の場合      メイン画面

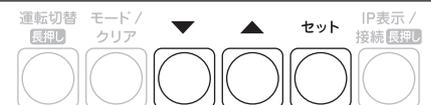
ウンテンイシチュウ \*



メンテナンス \*

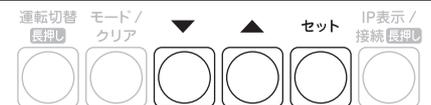
### 3 ▼ / ▲ボタンで「メーカーメニュー」を選び、セットボタンを押す

メーカーメニュー >>



### 4 ▼ / ▲ボタンで「カンゼンショキカ」を選び、セットボタンを押す

カンゼンショキカ >>



### 5 ▼ / ▲ボタンで「Yes」を選び、セットボタンを押す

- 「カンゼンショキカ ジッコウチュウ ...」、「OK」が表示され、完全初期化が完了します。

カンゼンショキカ  
> ジッコウシマスカ? Yes



カンゼンショキカ  
OK

### 6 セットボタンを押す

- 「キドウチュウ ...」、「セッテイチュウ ...」が表示されたあと、自動的に「ショキセッテイカイシ」が表示されます。もう一度計測ユニットの初期設定を行ってください。(⇒ 32) また、取扱説明書の「接続方法の選択」をお読みにになり、計測ユニットの通信設定を確認してください。

## その他 (つづき)

### 「計測ユニットメンテナンス」メニュー一覧

「計測ユニットメンテナンス」メニューはトップメニュー（第 1 階層）とサブメニュー（第 2 階層）から構成されています。

それぞれの設定について、詳しくは「施工・保守マニュアル」(6601239-0) をお読みください。

| トップメニュー名 | サブメニュー名                  | 概要   |
|----------|--------------------------|--|
| システム情報設定 | 種別設定                     | 主幹計測や外部発電計測の有無、接続されているパワーコンディショナの台数などを変更します。                     |
|          | パワーコンディショナ設定             | パワーコンディショナをシステムに追加する場合に、追加するパワーコンディショナを登録します。                    |
|          | 主幹電流センサ※ 1               | 主幹用電流センサの設置方向の確認と設定の変更を行います。                                     |
|          | 外部発電電流センサ※ 2             | 外部発電機用電流センサの設置方向の確認と設定の変更を行います。                                  |
|          | 分岐計測センサ※ 3               | 分岐ブレーカの電圧、分岐計測用電流センサの設置個所 (U 相 / W 相)、設置場所の確認と設定を行います。           |
|          | 日時設定                     | 日時の設定を変更します。   |
|          | 運転開始日                    | 運転開始日を変更します。(初期設定で日時設定を間違った場合などに使用します)                           |
|          | ソフトウェア自動更新設定             | 計測ユニットのソフトウェア自動更新の設定を行います。                                       |
|          | 出力制御設定                   | (⇒「施工・保守 補足説明書 (出力制御編)」<br>(6601187-3))                          |
|          | HEMS 接続設定                | HEMS コントローラとの接続設定を行います。  |
| 初期設定ナビ   | 初期設定時に設定した項目の確認・変更を行います。 |  |
| システム情報表示 | システム                     | システム全体の情報を表示します。計測ユニットの製造番号やソフトウェアバージョン、買取モードやシステム構成などの情報を確認します。 |
|          | パワーコンディショナ               | 接続しているパワーコンディショナごとの機器 No.、ユニット No.、製造番号、運転状況 (内部計測値) を確認します。     |
|          | 分岐計測                     | 分岐計測用電流センサごとの電圧や電流を確認します。  |
| 履歴消去     | 抑制履歴                     | 計測ユニットに保存されている抑制履歴を消去します。  |
|          | 異常履歴                     | 計測ユニットに保存されている異常履歴を消去します。  |

※ 1. 「種別設定」画面で、「主幹」が「なし」に設定されている場合は選択できません。

※ 2. 「種別設定」画面で、「外部発電」が「なし」に設定されている場合は選択できません。

※ 3. 「種別設定」画面で、「分岐計測数」が「0」に設定されている場合は選択できません。

メモ

---

## 技術的なお問い合わせ先

ハンファQセルズジャパン株式会社 PVシステム事業部 相談窓口

フリーダイヤル 0120-801-170 受付時間 平日 9:00~17:00 (土、日、祝日は除く)